

令和5年裾野市議会2月定例会

予算決算委員会 総務分科会（予算審査）

令和5年2月27日（月）、28日（火）

2月27日（月）	市長戦略部	財政課	・・・・・・・・	2
		秘書課	・・・・・・・・	15
		戦略推進課	・・・・・・・・	19
		情報発信課	・・・・・・・・	34
		渉外課	・・・・・・・・	41
	総務部	税務課	・・・・・・・・	44
		人事課	・・・・・・・・	50
		行政課	・・・・・・・・	60
		検査監	・・・・・・・・	68
2月28日（火）	環境市民部	生活環境課	・・・・・・・・	70
		美化センター	・・・・・・・・	86
		深良、富岡、須山支所	・・	101
		コミュニティ課	・・・	102
		市民課	・・・・・・・・	112
		危機管理課	・・・・・・・・	116
	議会事務局		・・・・・・・・	126
	監査委員事務局		・・・・・・・・	127
	出納課		・・・・・・・・	129
	自由討議		・・・・・・・・	132

9時00分 開会

○委員長（勝又利裕） 皆さん、おはようございます。ただいまから、本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりであります。

これより、予算決算委員会に付託され、本分科会に割り振られました第1号議案 令和5年度裾野市一般会計予算のうちの関係部分、第5号議案 令和5年度裾野市墓地事業特別会計予算の審査を行います。

審査の方法は、各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから質疑に入りたいと思います。

質疑の後、意見を伺います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

ここで、各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で、要点を明確に、簡潔な質疑をお願いいたします。

意見につきましても、要点を明確に、簡潔をお願いいたします。

次に、分科会外議員の発言の許否についてお諮りいたします。

質疑、意見について、分科会外議員から発言の申出があった場合には、委員長がその発言の許否を定めたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

なお、分科会外議員の発言は、本委員の発言終了後といたします。

また、発言の際には録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

市長戦略部

財政課

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありますか。

則武委員。

○委員（則武優貴） おはようございます。すみません。令和4年と比べて大きく削減した項目について詳しく教えてください。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 附属説明書の4ページを御覧ください。こちら上の(2)に歳出目的別のほうを記載しております。こちらの中で、令和5年度A、令和4年度のBというふうに記載してございまして、割合で言いますと、労働費のほうで19.3%の減、災害復旧債のほうは今年度は発行はございませんので、99%とありますが、実際の金額につきましては、衛生費のほうで約9,000万円、災害復旧債のほうでも約9,000万円の減額のほうが行われております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

ほかにどなたか。

井出委員。

○委員（井出 悟） よろしくお願ひします。まず、予算全体の話からですが、令和4年度から今後の財政見通しという形で財政の見通しの方法、仕方を変えられたと思うのですが、令和5年の予算組みに当たって、収支均衡の考え方というのが、配られた資料で言うと2ページですが、大きく変わったと思うのですが、そういう部分についての庁内議論とかどうなっているのですか。

暫時休憩お願ひします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 ご質問の点なのですが、令和4年度、令和5年度予算、こちらに関しましては、歳入のほう改善されているという状況でございます。ただし、歳出に関しましては基本的な構造、これに関しまして引き続き事業の改革、事業の改善、こういったものをやはり行っていかないと、歳出構造そのものは変わらないだろうという観点がございます。そうした中、単年度単年度を見ていく中で、裾野市の標準財政規模から言ったら恐らく2億円の差額が出れば収支均衡するだろうという中で、ここの部分につきましては今後歳出を計上していく中で、均衡をどうやって図っていくかという議論につきましては、令和4年度の市長、副市長による棚卸ですとか、事業選定、それから予算編成の中で議論が行われてきたという過程でございます。その中で令和5年度の予算につきましては、令和3年度に策定いたしましたいわゆる中期財政計画、基になっているのは行財政構造改革第2期計画、それに沿った中でもある程度の範囲内で収まるだろうという再編成で、ただしそれに対し

てはかなりの事業について順位づけを行って、令和5年度から行うとか、先送りするとは言いませんけれども、順位づけを行った中で編成を行ったと。それに合わせて、歳出をこの程度まで持ってきたというような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） ちょっと待ってください。説明非常にありがたいのですけれども、長くなるようなら休憩してやってください。

再開いたします。

井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。歳出の構造改革に非常に注力したということは理解しました。

その上で、先ほど則武委員が質疑されたところですが、附属説明書だと4ページかな、予算書だと10ページ、11ページのところですが、民生費、衛生費、労働費の増減額が災害復旧費を除けばほとんどかなと思っているのですが、ここの増減の減の部分で何か財政的に動きをしたようなところ、例えば先ほど言った構造の改革だとか、特筆するところがあったら教えてください。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 3款、4款、5款に関しましては、当然児童施設等、令和5年度で事業がないものにつきましては、計上のほうはしておりません。そういった減もございます。それ以上に令和3年、4年、予算執行を見ている中で、要は不用額であろうというものについては、実際の利用想定を見込んだ中で減額のほうを図っていると。いわゆる歳出につきまして、実際の金額に合わせて、より金額見まして厳密に査定のほうを行った結果であろうというふうに考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。

それでは、歳入のほうです。附属説明書だと2ページの部分ですが、先ほど歳入で増加を見込むとかというところがかなりあったような気がします。その部分について詳細をお伺いします。

まず、市税の増加、3億5,000万か、くらいの増加を見込んでいるのですが、この部分の増加の要因とか、見込みを教えてください。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 暫時休憩願います。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
財政課長。
- 財政課長 法人税の増加等を見込んでおります。
（「分かりました。ちょっと暫時休憩して」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
- 委員（井出 悟） それでは、先ほど地方消費税交付金の部分、1億7,000万円の増、この部分の要因とか、見込みを教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 財政課長。
- 財政課長 要因に地方消費税の増額の要因につきましては、国のコロナ対策等による経済対策、そういったものが功を奏しているのかもしれませんが、国の示す経済動向の状況からしましても、引き続き増額が見込まれるのではないかというふうに捉えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） いいですか。
ほかにどなたか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） お願いします。予算附属説明書のほうで、3ページです。こちらのほうなのですけれども、一番下の臨時財政対策債の項目のところに理由が書かれてあります。発行割合の変更による減ということなのですが、これ説明をお願いします。
- 委員長（勝又利裕） 財政課長。
- 財政課長 臨時財政対策債と地方交付税の関係なのですが、国のほうで昨年の12月以降その割合につきまして、対策債を減らして、交付税のほうを増やすと、令和4年度のほうでは逆に地方交付税減らして、対策債増やされたという結果なのですが、国の方針の中でのうちのほうの予算見込みとなっております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 国のとの考え方で交付税のほうに予算を投入するというようなことだと思いますけれども、そうしますとこの表の地方交付税のところなのですが、やはり増減の理由のところでも金額等載っているのですけれども、普通交付税、こちらの交付団体を想定されていると先ほどの説明の中にありましたけれども、金額的には増えていないという、こちらのほうが、これはどういう考え方でなっているのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 地方交付税、それから臨時財政対策債、これ総額を比べる中で、いわゆる法人市民税関係ですとか、そういったものが裾野市のほうは増えております。税収のほうも若干でも戻ってきております。そうした中で、令和5年度に関しましては、地方交付税のほうが総体として減るのではないかと、いうふうに捉えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件分かりました。

同じ表でちょっとお話しさせていただきますけれども、市債のところでの令和5年度の全体としての起債に対しての発行額についての考え方というのはどのように考えられていますでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 市債につきましては、もちろん臨時財政対策債を除いた、事業債に関しての起債なのですが、いわゆる起債につきましては可能な限り起債を起こしたいところがございます。ただし、これが後年の負担を強いてしまいますので、その辺のバランスを見ながら、起債のほうを起こしております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 令和5年度の市長の重要な事業の計画というのを聞きしますと、かなり投資事業というのも想定されているのではないかなというふうに感じております。そこで、投資事業というのやはり起債が必要になってくると思いますので、その辺のコントロールといいますか、起債額、発行額の、そういったことについての議論はどうだったのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 市長、副市長とのいわゆる事業の棚卸、事業選定、予算編成を行っていく中で、将来の市債の推定、そういったものを見ながら、ただこれまで借り入れた起債がどの段階で終わっていくのか、そういった中でどのタイミングで市債のほうをまた新たに起こせるのか、そういった議論を行った上で、ではこの事業に関しては令和5年度では調査事業、その以降に本格的な建設事業、着手するとかという議論のほうは行っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今年度主に構想の段階のものが多いのかなというふうには思いますけれども、そうしますと構想の次は実際の事業のことに踏み込んでいくわけですね。それが今後重なっていくということに対して、財政的な議論というのはどうだったのですか。

- 委員長（勝又利裕） 財政課長。
- 財政課長 委員ご指摘のとおり、起債のコントロールをわれわれ図っていないと、後年度の非常に重荷になるというのは踏まえております。そうした中で、いわゆる構想事業から本格着手、ただそれが同時に全てのものが着手となってきますと、重荷になってきます。もう一つがFM、ファシリティマネジメントのほうも今回東小のほうの改築も計画されておりますし、そういった重荷になるものが変わってきます。そうした中で、いわゆる民間でできるものは民間で行っていただければ、行った場合、どれだけ市の財政負担が軽減されるのか、そういった観点から含めて、基礎的な研究のほうも行っております。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） ぜひ今後しっかりとしたまた議論を、この令和5年度やっていただいて、取り組んでいただきたいと思います。
- 委員長（勝又利裕） ほかにありますか。

内藤委員。

- 委員（内藤法子） お願いします。予算の全体のちょっと考え方なのですが、総務省の自治財政局が2月に地方財政計画のポイントというのを発表しています。その中で、国が大きく地方財政支援をしているのですが、この流れの中で特に裾野市が財政支援を受けて、予算に反映したというのがありますか。

- 委員長（勝又利裕） 財政課長。
- 財政課長 暫時休憩願います。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。

財政課長。

- 財政課長 国の示すものに対しましては、本市といたしましてもDXの推進、それから、脱炭素の取組につきまして交付税措置のほうの期待のほうをしております。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） やっぱり国の流れというのはしっかりつかんで、チャンス逃さずに歳入というか、頑張ってくださいと思います。

あと、予算書の60ページ、61ページ、基金繰入金で財政調整基金の、全般的に財調のことについて伺います。予算附属説明書で令和5年度の末の現在見込みというのが34億3,100万を予測しています。財調の指標というのは、

今までの委員会で25%ぐらい、標準財政規模の25%ぐらいが適切とおっしゃいましたけれども、これで間違いないですか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 国の示す割合につきましては、幅も多少ございます。いわゆる15%だったり、今委員ご指摘の25%だったりとか幅がございます。ただし、全国的な自治体の中では10%程度という自治体もございますので、我々としたしましては、ある程度、これから事業のほうも行ってまいりますので、財政構造改革、行財政構造改革の進捗を見ながら一定割合を確保したいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 自治体の中では10%でいいではないかという考え方もあります。けれども、中期財政計画にのっとってやっぱり多いに越したことがないので、なるべくたくさん積んでいくという考え方ですよね。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 もちろん理想は多ければ多いに越したことがないのですが、実際の投資のほうも行っていく、それから、地域経済という部分もございまして、その辺のバランスを見ながら運営のほうをしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 先ほど三富委員も指摘しましたけれども、これから投資とか、やっぱり細かい福祉が必要となってくるので、この辺もちょっと考えながらやっていただければと思います。

一旦以上です。

○委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 18、19ページの中で、基準財政収入額と基準財政需要額、それぞれ金額はどのようなになっているのでしょうか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 需要のほうは92億3,000万円、収入のほうは89億6,000万円となります。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、新たに今年度需要額に入れられたものとかと
いうのは何かありますか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
財政課長。
- 財政課長 令和4年度ベースのほうで考えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、令和5年度の予算の中で影響、今度算入され
るといようなものというのがありますか。
- 委員長（勝又利裕） 財政課長。
- 財政課長 先ほ同僚委員のご質問にお答えいたしました。国のほうで新た
に交付税措置されるいわゆるDX、引き続き交付税措置されるDXの取組で
すとか、それから脱炭素の取組ですとか、そういった細目、細かい中で新た
に当たるものがあれば交付税措置の調査のほうに回答していきたいと。それ
で当たれば交付税措置されるというのございますので、国の新たに示すもの
に対して交付税の申請をしていきたいというふうに考えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） その中で、先ほどいろいろ民間にできるものは民間にと
いうふうな、それが市財政にとってもいいことだからというお話があったの
ですが、ではその民間にできるものは民間へ、具体的にはどのようなものが、
こういうところに影響してくるのでしょうか。これからやろうとされている
ことで。
- （「委員長、暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
財政課長。
- 財政課長 ご質問の趣旨からいたしますと、民間に関しましては、この先将
来、令和6年とか7年とか将来取り組みたいというふうに考えておりますの
で、令和5年度の予算では一部のものを除いては入れておりません。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、101 ページ、公共施設経営課に関連しまして、
ファシリティマネジメント関連経費とあります。この中に市長が施策方針の

中で、学校再編に関して床から人へというような政策的なことを述べられたのですけれども、これらの変化の中で職員の方に対して、ファシリティマネジメントの在り方に新たな研修、そういうものというのとは何か計画はされていますのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 予算計上といたしましては、旅費ですとか、賃借料、いわゆる県、国等が主催する会議等に参加する費用分のほうを入れております。と申しますのも、制度、指定管理の制度所管課というのございますので、ファシリティマネジメント、制度所管課でございますので、その制度所管課といたしまして、各施設所管課への情報提供、それから情報の取りまとめというのを行うところでございます。そうした中で、年に1回、年度当初に施設所管課集めまして、全体調整会議というのを行っておりますので、制度所管課でございますので、全体会議のみ考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） ファシリティマネジメントの関係取り入れてから、かなりなるのですけれども、裾野市の財政状況の中で、必要なものを精査をして予算を上げるということが本当に身につけてしまっているというか、そういう中で、本来ファシリティマネジメントの視点からして、必要なところへの予算づけも何かできなくなってしまっている現状があるような気がするのですけれども、その辺の認識は担当課としてどのようにお考えでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 例えば……

○委員長（勝又利裕） 大丈夫。

○財政課長 では、いきます。

議員協議会の中でご説明のほうさせていただきましたが、庁舎の空調管理、いわゆるE S C Oの検討をしたり、それからそういった検討をして、担当課のほうで機器の更新をしたいからというだけではなくて、新たな視点で検討のほうを行っているというのございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 設備更新等、新たな視点のものを検討しております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） ほかに。

浅田委員。

○副委員長（浅田基行） お願いいたします。話の中で、今回予算編成で市長、副市長がすごく棚卸を実施したというような話がありましたけれども、副市長棚卸をして、財政課にどのような指示といたしますか、この5年度の予算、こういうところ棚卸した結果で、こうしろみたいな指示みたいなのは何かあったのですか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 委員ご指摘の棚卸に関しましては、これは契約全体の見直しですとか、大きなものも含んだ見直し指示もごございます。そうした中で、各課へ見直しの指示を行っております。ただし、これにつきましては当然契約については長期継続契約もございまして、令和6年、7年、将来に関して見直しがされるものというものも含んでおります。直接的に令和5年度で見直しがされたというだけではございませんので、将来にわたって見直しのほうは進んでいくというふうに捉えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 抽象的で、そういうことだろうというのは理解の上で、令和5年度、特徴的といいますか、特に重点的というようなことがあるかということを確認しています。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 建設の事業に関しましては、市長の方針にもごございますように、いわゆる投資効果の高い事業、これを中心に行っていこうと。今後の財政状況を考えた上で、投資効果の高い事業をまず行っていこうというのがございます。そうした中で、いわゆる既存の事業についても一旦見直しのほうを進めるという方針でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 今ぐらいなのかなという。分かりました。

ちょっと次、歳出のほうは、歳入は今回財政見通しという時期を見直して、歳入はどちらかという最新の情報で歳入は確認できたという認識でいるのですけれども、歳出は継続してやっぱり進めていかなければいけないというところで、毎年度財政マネジメントであるとか、第2期の行政改革は継続に収支均衡を図るためにやっていかなければいけない。財政課としては、令和5年度どういったところをやはり重点的に各課に指示を出すのか、というようなことを含めてどういうお考えでいるのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 財政課といたしましては、当然事業の査定を行っていく中で、いわゆる業務の改善等を見据えた査定の方を行っていきたいというふうに考えています。それから、当然事業選定等の中で、いわゆる事業の見直し、いわゆる改革の部分に関してなのですが、こういったところは市長、副市長の指示に基づき、各課と検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 予算書 100、101 ページのところ、FM関係、令和5年度というのは課を新設して行うのですのですけれども、FM関係で令和5年度課も新設されるということで、何を重点的にやるという計画なのか、どういうところ重点的にやるか、計画をお願いいたします。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 公共施設経営課につきましては、いわゆるFMの取組の中でもいわゆる各施設の個別計画の策定というのが求められておりますので、そういった策定支援おこないます。それから、契約等の見直しの中で、いわゆる昨年度プロレードパートナーズ、民間企業と契約の見直し等に関して検討を行ったと、ございましたので、そういった実績を基に、今回包括管理委託とか、新たな契約形態の検討を行っていきたいというふうに考えています。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 今の副委員長のところの部分ですけれども、実施計画等も一緒に配付していただいたと思うのですけれども、公共施設経営課に、御課として、すみません。執行部としてプライオリティーを上げていくということだと思うのですけれども、一方で指標が総量縮減がもう既に達成してしまっているのです。課として、今後公共施設の総量削減はもう既に令和3年度で目標達成してしまっているし、パラメーターとしては充足しているのだけれども、取組として何か評価していくところがちょっとよく見えないなと思っておりますけれども、何かあるのですか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 暫時休憩願います。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

市長戦略部長。

○市長戦略部長 委員今ご指摘いただいたこと、非常に重要だと考えておまして新しい課せっかくつくるものですから、実施計画のほうで例えば一例挙げますと、市有財産の有効活用拡大及び売却の推進なんていうことで、実施

計画お持ちの方 281 ページになりますが、未利用地の年間売却数なんて、こういうところも全部拾っていく課がこの公共施設の経営課となります。全体のバランスを見まして、必要などころに必要な手を打っていくというために新しく新設した課になりますので、しっかりとこの辺は業務をやっていきたいと、このように考えております。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。

もう最後にします。実際この指定管理者の導入制度とか、かなり御課が出しているキーワードの中で重要な指標があるのだけれども、そのやっぱり趣旨をちゃんと考えがあれば伝えてほしいなというのが正直なところ。指定管理者制度も今年度15になっていて、ずっと一定にしているのだけれども、ここの部分の考え方だとか、そういうのも今後しっかり反映していただけることを望んで終わります、僕は。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

よろしいですか。

浅田委員。

○副委員長（浅田基行） すみません。1点。先日、財政見通しというものが令和5年度から令和9年度でお示しありました。令和5年度のこの当初予算のときに、見通しのときに令和9年度に均衡を図れる見込みというようなものも示されている部分で、令和5年度、今掲げられている財政非常事態宣言というものが、今回の見込みによって、非常事態宣言を下ろす、宣言を解除するというような議論というのは令和5年度の当初予算の中で議論、検討という話はあったのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 財政課長。

○財政課長 12月定例会の中で、同僚議員の一般質問にもお答えさせていただいておりますが、歳入に関しましては、この令和5年度、4年、5年の中で改善されてきているだろうと。ただし、市長が進めようとしているいわゆる投資による効果についてはまだまだ先だと。歳出に関しましては、歳出構造の改革、それからもう一つがやはりFMに関しまして、いわゆる美化センターを含めた公共施設のほうで今後どれだけのものが必要になるのか、それに対してどういった対策が取られるのか、取れるのかというものが明らかになった時点で、非常事態宣言の解除について早急に検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 副委員長（浅田基行） 話の中で大分課題というのが見えてきているかと、今感じたのですけれども、そうするとスケジュール的で、この時期、もしくはこの基準、この時期というところでは、予測みたいなものが出ている、出そうな状況なのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 財政課長。
- 財政課長 令和3年度に策定いたしました行財政構造改革第2期計画、この中でいわゆる短期的なものは令和9年度の当初予算編成で収支の均衡を目指すというふうにしてしておりますが、いわゆるその中で中長期的な見直しを図らなければならない、いわゆるFMをベースとしたものに関しては、最低限この5年間でそこまでの見通しはもう立てようというのが計画の趣旨でございます。そうした中で、市長、副市長より早急に計画のほうを立てて、見直しを出すという指示ございますので、そうした中で公共施設経営課の役割が重要になってくるのかなというふうに捉えております。
- 以上です。

（「了解、理解いたしました」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。

分科会外議員の質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の質疑を終了いたします。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で財政課の質疑を終わります。

秘書課

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありますか。
則武委員。
- 委員（則武優貴） すみません。それでは、令和5年度の秘書課のミッションで一番重きを置いているところについて教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 秘書課はご存じのとおり、市長、副市長の公務のスケジュール管理ですとか、庁内の連絡調整等を行ってございます。今年度新しく市長戦略も策定されましたので、所管課がそれぞれ持っている施策に関する市長、副市長との連絡調整、外部との調整等スムーズに市長、副市長の判断の遅れにつながらないように調整をすることが一番のミッションだと考えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 則武委員。
- 委員（則武優貴） すみません。ありがとうございます。
それでは、そのミッションの達成に向けて何か工夫とかあってしていますか。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 コロナ禍の影響も徐々に改善の方向といたしますか、通常の状態に向かって動いてございまして、やはり公務の件数というのがこれからもまだ伸びていくのかなというふうに捉えているところでございます。そうしますと、難しくなってくるのが、市長、副市長の公務と公務の間の時間ですとか、その順序をコントロールして、いかに効率よくスケジュール調整をして、先ほど申し上げました決断のおくれとか情報収集の遅れにつながらないようにコントロールするかというところを工夫してまいりたいと思っております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） お願いします。令和4年度は、出向くタイプの市長が広聴される場がかなり何回かつくられたというふうに気にしていますけれども、来年度は方針とか何かありますか。市長の広聴機能というか。
（「暫時休憩を」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
秘書課長。

○秘書課長 令和4年度につきましては、飛び出す市長室を代表といたしまして、外に出る形での広聴機能というのを持ってございましたけれども、令和5年度に向けましては、またブラッシュアップするような意味合いで検討していきたい思います。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 了解です。

最後ですけれども、先ほど則武委員のほうからも御課のミッションのほうの質問がありましたが、庁内の連絡調整及び市長の戦略の浸透、推進ということだと思っただけけれども、それに当たって市長がいわゆるミッションとか、そういう考え方を末端までしっかり染み渡らせるような取組に対して、戦略推進課との連携がもしかしたらうんと必要なのかもしれないけれども、御課がすごくやろうとすることとか、来年度気にするところとかありますか。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

秘書課長。

○秘書課長 ご存じのとおり、まず情報伝達の手段といたしまして、部課長会議ですとか、庁議等を秘書課のほうで所管をしております。その中では当然市長戦略ビジョン、ミッションについての言及等は多くされてございますけれども、全庁的なものといたしましては、やはり部課長を通じた連絡もそうですし、新しい市長が就任されてから庁内のレクですとか、打合せもかなりの件数伸びてございます。ここで主要な施策に対する職員から市長への直接の打合せ等も数が増えてございますので、そういうところでも情報の伝達ですとか、市長、副市長との直接の確認ということで浸透を図ってまいりたいと考えてございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） お願いします。市長は、トップセールスを積極的に行われているというふうには受け止めているのですけれども、交際費が令和4年度の当初予算と同額を令和5年度も計上されておりますが、コロナの関係も大分落ち着いてくるということが想定されている中で、この交際費で大丈夫でしょうか。

○委員長（勝又利裕） 秘書課長。

○秘書課長 ご指摘のとおり、これからますますそういった交流、情報の交換ですとかというの機会というのが増えていくように捉えてございます。ただ、

今年度の執行の状況等を勘案しまして、まだしばらくはこの予算で対応ができるかなという判断をさせていただきます。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、令和5年度はこの計上された予算で賄えるということでよろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 お見込みのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） お願いします。今の質問に続きますけれども、やっぱりコロナが落ち着いて外に出る、それから、市長自身が本当にトップセールスで頑張っているのを見ると、全体として国際交流の分を削った予算になったのですが、ここを市長がもっと動きやすくということで、プラスにするという考えはなかったのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 そこも先ほどちょっとお答えしたこととかぶるのですが、市長の判断の遅れとかにつながらないように、情報の収集の支障とならないようにということは考えてございます。これも今年度の予算の執行状況を捉えまして、令和5年度につきましてはこの予算で十分対応ができるかなという判断でございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 執行の予算の判断でということでしたけれども、やっぱりこれに縛られずに頑張りたいという気持ちがあります。必要なものは予算化していただきたいと思います。
あと一つですけれども、1個確認なのですが、負補交のところ、令和5年度無電柱化促進市町村会の負担金の3,000円ですか、それがなくなっているのですが、無電柱化というこのテーマはなくしてもよかったのでしょうか、その議論。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 無電柱化の促進に対しましては、平成の28年に無電柱化法も施行されまして、市として同僚議員の皆さんから同じような質問がほかの議会のところでも出ていることかとございます。裾野市として無電柱化のテーマをなくしたということではなくて、法律の施行やその他の情報収集を行う上で、ほかの対応で十分できるのではないかと判断で今回削減をさせていただきます。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） この協議会ですか、やっぱり出席することで、その他の情報交換もできると思うのですけれども、県内の動きというのは、うちの裾野市が脱退したのは全体の流れに沿っているのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 担当部署とも連絡調整をいたしまして、裾野市としては支障がないというふうに判断をいたしました。
- 以上です。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
- 浅田委員。
- 副委員長（浅田基行） 1点。旅費のところでは特別旅費、昨年度は海外に行くというのがあった予算計上だったのが、令和5年度はないというご説明があったかと思うのですけれども、それ以外に普通旅費の県内のところが、大分昨年度に比べて減額になっていきますけれども、何か見直した点ってあるのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 秘書課長。
- 秘書課長 暫時休憩を。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
- 秘書課長。
- 秘書課長 今年度の公務の執行につきましては、削減をしても支障のないという判断をさせていただきます。
- 以上です。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
- 以上で委員の質疑を終了します。
- 分科会外議員の質疑はありますか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の質疑を終了します。
- 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
- これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で秘書課の質疑を終わります。

戦略推進課

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありますか。

則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。よろしくお願ひします。デジタル部についてです。改めて新設することによって、プラスとなることについてお聞かせください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 裾野市の行財政構造改革の手法の一つとして、デジタルの活用ということをして現在考えております。そのため、他部署との連携をより強化していきたい、また国との連携も併せて情報収集なんかも強化していきたいという判断から、新たにデジタル部を新設するという考えに至りました。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） それでは、デジタル部のミッションについて、初年度の目的についてですか、どこまでを目指していくのか教えてください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 まずは、本庁内の業務工数の確認ということを考えております。デジタル部において、いわゆる人件費の部分、どの業務にどのくらいの工数が割かれているかというのを数値化して判断できるようにしていきたいと思ひます。また、その上でデジタルを活用しないとしても、重複するような業務が確認できるとおもひますもので、その辺を整理して、より迅速な事務手続が行えるようにということをおまづ大前提としておひます。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。それでは、取りあえず1年間はお試しのよな形ということで、すみません。暫時休憩お願ひします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開します。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 1年間の確認時間をとらずに、改善できるものは随時改善して、業務フローの見直しを行う予定でございます。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

ほかにどなたか。

井出委員。

○委員（井出 悟） よろしくお願ひします。一番最初に、全体の像をちよつと把握したいのですけれども、今回の行政機構の改革、改善で、公共交通を都市計画課とかに移動しているのではないですか。その辺の議論の中身というか、どういう内容だったのかちよつと教えてください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 まず、公共交通につきましては、立地適正化計画等を次年度予定される都市計画課ですが、で作成してございます。どうしても拠点間を結ぶ交通網の充実という部分がございますので、利用する側の人たちの意見とハード的な部分を整備するものというところの関連性から、まちづくり課のほうにという形、もう一点はこの所属の戦略推進課ですが、庁内の全体も俯瞰した形で政策推進に当たりたいという判断から、事業部門につきましては各課、各部のほうにという考えもございました。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 都市計画課にて立地適正化計画のほうを管理しております。拠点間を結ぶというものも大変重要なものと判断しまして、所管する都市計画課のほうに戦略推進課のほうから公共交通部門を移管しております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

井出委員。

○委員（井出 悟） ちよつと確認ですけれども、後半の部分のお答えは、現市長戦略部の工数の業務の最適配置をして、負荷分散を図った、そういうような考え方でよかったですよね、後半の部分は。その確認。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 委員のおっしゃるとおり、庁内の業務推進のほうに力を入れるという判断でございます。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 次行きます。地域活性化企業人580万円かな、560万円か、の部分ですけれども、令和4年度はカーボンニュートラルに対する計画を裾野でカーボンをつくったということですが、来年は何をするのかをちよつともう一回見える計画というか、考えをお伝えください。

（「休憩願ひます」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

市長戦略部長。

○市長戦略部長 地域活性化企業人制度でございますが、大きく分けて2つの考え方ございます。同じ業務を数年間にわたって携わっていただくというのが1つ、もう一つはせつかく民間の方に来ていただいているものですから、その利点、利点をその必要なときに必要とされている施策に生かしていただくと。今現在市長と確認中でございますが、どうも後者の部分の色合いが今のところ強いかなと。現在はそのような形です。いずれにしましても、これは人事異動等は密接に関係しているものではございませんが、そのときに併せては発表ができるかなと思っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員（井出 悟） 令和4年度は、裾野でカーボンをつくるに当たって、かなりご尽力されているし、説明等も伺っているような気はしますけれども、来年、実施という、カーボンニュートラルの実現に向けた施策の展開というときに、民間人材をどうやって活用して展開していくのか、その辺の部分のお考えがあればお聞かせください。

○委員長（勝又利裕） 市長戦略部長。

○市長戦略部長 先ほどお答えをいたしました。そのまま継続でカーボンニュートラルの施策に携わっていただくか否かは、最終決定はまだしておりません。現段階では決まっております。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。

次行きます。DXの関係です。予算書で言うと市民意識調査のところがあったと思うのですが、104ページです。自治体DX推進事業費で上がった事業の内訳を、施設だから審査とは関係ないのかもしれないですが、ご説明の中でも市民意識調査の話が出てきたと思うのですが、自治体DXの推進とあまり関係ないようなふうに見えるのですけれども、この辺の考え方、来年自治体DXを推進するに当たって、市民意識調査の委託の部分とどういうふうにして、改善がなされていくのか、お考えをお聞かせください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 まず1点は、先ほどご答弁させていただきましたが、戦略推進課の業務を少し減らしてというような発想で移管してございます。また、これまでの市民意識調査の方法とは異なる情報収集を現在考えております。それは答弁させていただきましたが、行財政構造改革の一環としてデジタルを活用したというような発想でございます。情報の収集もデジタル面を使いながら、またそれを各施策のほうにデジタルを活用して生かすというところから、市民目線という発想からデジタル部のほうで一括してやりたいというふうに考えております。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） ちょっと成果をまた今後拝見しながらとは思っています。

今回、先ほどもありましたけれども、デジタル部を発足させて、初年度としてはまず現状把握をして、なおかつ改善できるものは即時改善していくのだというような、小回りの部分を言われたと思うのですけれども、そういった中で、全庁的な横串を刺すという言い方がいいのか分からないのだけれども、どういう動きを持たせるのか、それをやるためにどういう組織にしていくのかというのがちょっとあまりよく見えていないのですけれども、お考えがあれば教えてください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 今、委員言われるとおり、あくまでも横串を刺すというのがこの部署の考えでございます。パソコンの環境なんかが変化してきているというのは、委員の皆様もご承知のとおりでございます。全庁を挙げてのデジタル化の推進という考えでございます。庁内のデジタルに関する研修を主催していったり、また外部講師との連携を図りながら、現状にとどまらず新たなものを取り込むというような形で、それを横串を刺して展開していくというような部署として考えております。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。

では、最後です。令和5年度、市長戦略という形で新しい目線での事業推進のやり方を提示いただいたのですけれども、これに対して戦略推進課の立ち位置をちょっと確認したいと思います。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員（井出 悟） 令和5年度、市長戦略を推進するに当たって、市長戦略、戦略推進課の立ち位置だとか、取組、この市長戦略を染み渡らせるための活動の考え方とか、その辺がもしあればお聞かせください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 今年度からの動きになります。今年度この市長戦略を作成するに当たっては、私の課で作成させていただいております。また、今年度は経営会議というのを庁議に併せて開催しております。現状はもう既にこの各種事業における進捗管理等を行っております。来年度におきましては、先ほど来答弁させていただいておりますとおり、このような全庁にわたる事業の進捗をより一層深めて、戦略の達成に臨むというような立ち位置でございます。

また、経営会議を通じまして、各部、所管する所属長にはこちらの市長戦略を全庁的に展開するようという指示をしておりますので、これからより一層浸透していくものと考えております。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。指示の話は分かりました。

その中で、市長戦略を全庁的に染み渡らせる、経営会議の内容を染み渡らせるときに、ビジョンだとかミッションだとかというのは、当然自部署に、市のミッションを……

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員（井出 悟） 市のミッション実現に関して、ビジョン実現のブレイクダウン、自部署におけたブレイクダウンというのは、来年度どういうふうな形で進めていくのですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 庁内資料となりますが、こちらに掲げております各種事業につきましては、年度ごとの目標値を定めてございます。また、それに対する進捗状況を毎月報告するというような管理をしておりますので、遅れ等がございましたが、対応できるというふうに考えてございます。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 最後です。ということは、実施計画、今回総合計画の実施計画を予算と一緒に配っていただきましたけれども、来年度以降はそれの見方がよりその経営戦略、経営会議等の内容に基づいたようなものにどんどん変わっていくという認識を持っていますか。

○委員（井出 悟） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり総合計画におきましては、市政全般を網羅するものというふうになっております。また、その上で重点的に行おうと考えておるのがこちらの市長戦略になっていきます。予算編成をベースに実施計画のほうが作

成されていきますので、今委員言われるとおり、来年度予算につきましてはよりこのような、令和6年度になるのですか、内容に近くなってくるものと思われれます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。

三富委員。

○委員（三富美代子） お願いします。先ほど市民意識調査のことが出まして、そのときのご説明の中で、異なる情報収集というお話があったのですが、どんな情報を収集するのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 お受けする情報自体は変化があまりないかと思っておるのですが、毎年調査対象者が変わるというような調査になりますと、年度ごと何が進捗してきているというのが確実に把握ができません、人によって感覚が違ってきますので。情報収集の方法を変えていったほうが進捗度等が確認できるのではないかという議論が現在されております。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、今までの意識調査の設問がありましたけれども、中身的にはあまり変化はないというふうに捉えていいですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 何年度分か見ていただくと全く変わらないというよりは、ぶれない設問もございます。それプラス、そのときのトピック、注目して情報をいただきたいものというようなものが編成されております。この部分については、全く変わったものがというのは想定しておりません。継続的なものも出てくると思っております。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件分かりました。

別件です。道の駅整備事業についてですけれども、令和5年度はいろんな調査等をされて、構想策定ということですが、その構想の中ではまだ市域内のどういった地域の候補地というようなところまでは踏み込まないという、そういうお考えですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 これは、一部報道、新聞等にも記載されておりますが、来年度の業務の中では場所の特定は実施いたします。確定させます。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 来年度中、令和5年度中ということでもいいですね。令和5年度中に候補地を確定していくということですが、その確定はや

っぱり最終的な年度末という、スケジュール的には、そういうことでよろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 委託の中、委託の工期としますと、恐らく来年度末に近くなってくるのではないかなとは思っております。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 最初の説明の中で、関係団体との調整とかイメージ図の作成というような項目も挙げられておりましたけれども、この辺のスケジュール的なことなのですけれども、どのように展開をされていけますか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 現在、この事業は道の駅というような名称で考えております。まず、関係団体と言われますと、やはり利用される方たち、市民も事業者もそうですし、道の駅と一般的に言われるものは、国の指定を受けて道の駅と。指定がないものは村の駅とか川の駅とか、川の駅は川の駅で指定のルールがあるはずなのですが、そういうものがございますので、国との調整をまず主に考えていきたい。片方で使う側という形に考えています。現在も既に国との調整を進めているところではございます。できれば上半期中にはその辺のどのようなものができたらいいねとか、国が、恐らく国と言えばやはり国道沿いになるのですが、幹線道路沿いのこの辺がいいねというような意見をいただきながら、後半戦に向けて、ではこの辺の位置でこういう形のものがいいかというようなものが作り上げればなというような考えでございます。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、年度の半ばぐらいにはイメージ的にそういった場所がある程度想定され始め、想定され始めたときにいろんな、国ではない関係団体との話を進めていくという考え方でいいですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 この委託については、ワークショップを予定しております。先ほど国ではないというところお話いただきましたが、やはり市民の方々が、あと利用されると想定される事業者の方々がこういうものがいいねというのが意見をいただいて、だったらこの場所がいいねというような順になるのかなと思っておりますので、どちらかというところ場所ありきというよりは、まずは皆さんのご意見の確認からスタートするのかなというふうに思っています。

（「暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。
三富委員。

○委員（三富美代子） いいです。今の件は休憩中でいいです。

すみません。委員長、もう一点。別件ですけれども、総合計画の実施計画の106ページのところに移住就業支援事業について書かれて、記載があります。その課題の中で単身世帯の問合せが多いけれども、子育て世帯からの問合せが少ないというような課題点が挙げられておまして、この課題点克服に向けて、令和5年度どのように取り組むお考えでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり単身世帯と子育て世帯というような発想になるかと思えます。やはり子育て世帯になりますと、字のごとく子育て環境の整備が必要かと思っております。当課自身では予算計上が特段ございませんが、そういう意味ではみどりと公園課をつくって公園の整備に力を入れたり、それがイコール子育ての魅力として認識していただければ、当方の移住定住施策につながるのかなというような形で、戦略推進課でございますので、全庁的な事業展開というところでその面の対策を考えてございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

ほかに。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 委員長、ちょっと暫時休憩お願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 255ページに需用費として印刷製本費、バスタクシー券2,000冊とあります。これ母数というか、バスタクシー券を申請できる母数は何人ですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 現在、当市のバスタクシーチケットが利用できる方というのが70歳以上の方を対象にしております。この人数が1万794人ですというふうになっております。母数です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） その中で、2,000冊とした根拠。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 現在、現段階で申請率です、11.2%で1,205人、こちらの方が申請をしていただけておりますので、印刷ですもので、不足すれば印刷していくわけなのですが、おおむねその1,200人という数字から、当初は2,000冊、これは伸びを期待しているところですが、そういう数字になっております。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） この伸びない理由ということを議論して、そして多くの人に利用してほしいと考えるのですけれども、その辺の議論はなかったのですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり広報無線等もお聞きいただいていると思うのですが、年が明けてからまだ申請をしていない方は申請ください、また使っていない方は3月末までですよという形で、かなりアナウンスはしていただいております。

申請率11.2%というお話をさせていただいたのですが、そのうち1枚でも使った人が現段階で821人です。要は1万794人中使った人が821人という形です。委員おっしゃるとおり、これを伸ばすという形を考えております。現在は、2,000円、100円つづりを20枚なのですが、こちらを100円つづりを30枚にしようというふうな考えを持っております。また、821人の方が使っていただいているのですが、この方たちに対しては来年度も使っていただけるという想定がつかますもので、市のほうに来ていただいて、新たな申請書を書くのもお手数をおかけしますので、市役所のほうから利用券のほうを直接送付させていただきたいというような形で改善を考えてございます。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員（内藤法子） このバスタクシー券は、案内からちょっとやっぱり課題があると思います。三島市なんかは対象者全員に通知をすると、そういうところで利用率上がっているのですけれども、せつかくの制度で、予算づけをするときに通知方法、内容、もっと検討する必要がありますが、まず予算上げた、ちゃんと検討して改善していく予定はありますか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 令和4年度におきましても、本人確認を不要とするというふうな改善を行っております。広報方法は、鋭意努力しているところでございますが、よりよい方法に年度途中でも改善していきたいというふうな考えは持っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それはぜひお願いします。

それともう一つ、30枚ですから、2,000円が3,000円になるということですか。

- 委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。
○戦略推進課長 はい、そのとおりでございます。
○委員長（勝又利裕） 内藤委員。
○委員（内藤法子） 相変わらず100円券を上限2枚、200円ということですか。
○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。
○戦略推進課長 そちらの利用方法についても、現在検討中でございます。
○委員長（勝又利裕） 内藤委員。
○委員（内藤法子） これは、長泉でも沼津でも一遍に使ってもいいという制度になっています。ぜひそれも含めて考えてください。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。

岡本委員。

- 委員（岡本和枝） 今のところ続けてですが、今あくまで券はその本人しか使わないというような状態になっていますけれども、今回今まで利用した人に対しては郵送ということならば、それを利用して、その対象の世帯分を送る、世帯にいる対象者の方の分を送って、なおかつ家族内というか、その中ではお互いに利用できるみたいな、そういうふうに変えたらどうかと思うのですが、令和5年度の中で、その改善の中で出ていないのでしょうか。

- 委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。
○戦略推進課長 先ほど申し上げましたとおり、来年度の改善というようなことも考えておりますので、ご意見として伺っておきます。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
○委員（岡本和枝） いろいろ改善されたというふうに、それは評価をしております。

あと1点。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
○委員（岡本和枝） 自治体DX推進事業に関わる経費とあるのですが、令和5年度でデジタルデバイド対策というのはどのようになっているのでしょうか。

- 委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。
○戦略推進課長 デジタルデバイド対策というのは、以前から議会でもご議論いただいているところでございます。デジタル部に所属すると思われる職員につきましても、やはりそういうものの扱いにも慣れてきているというような者が配置される可能性がございます。デジタル部自身は横串を刺す部署だというふうにご覧しておりますが、例えば高齢の方々がお集まりになる場等にデジタル部の

職員が同席させていただきまして、デジタルを使うことを勉強しに集まってくださいというのだと、なかなか集まっていただけないのかなというふうに考えております。例えば本日もお話いろいろあるようですが、マイナンバーカードの取得については、ポイントですね、マイナンバーのポイントなんかもスマホ上でできますよというようなときに、慣れていないからという形でそこに寄り添ってデジタル部の人間がサポートさせていただくとか、そういうような形で全庁的なイベントごとの際に同席するというような考えです。特段それ用の予算は不要だなという形には考えておりますが、事業は展開していく予定でございます。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） その中で1つ、視力障害とか、スマホを持っていてもなかなか機械を利用しにくいみたいなのもいらっしゃるのですが、その点についての何か対策みたいなものは考えられていますか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 現在、デジタル部の所管としては、そのようなものに対しての予算等は検討はしてございません。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それは、福祉関係のほうでその辺は見ていくこともできるということでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 現在、議論にはなっていないところですが、全庁的にその点につきましても検討する必要があるかなと感じております。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それと、使い方と同時にそもそもそういう機器を持っていない方というのもまだたくさんいらっしゃるのですけれども、そこに対する対策等は何か考えていらっしゃいますか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 全てをデジタルにして、それで何でもやりなさいというような発想はまさに市民目線ではないかなと考えておりますので、やはり一部は従前の申請方法もちゃんと対応するようという形で指導していきたいと思っております。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 先ほど内藤委員からも出ましたけれども、広報も聞いていない、そしてなおかつまた市のホームページ等にも到達できない方というのがたくさんいらっしゃるのですけれども、そういうことをひっくるめて何かそ

ういう点での対策みたいなものは取られていますでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 広報につきましては、市民生活、防災時の関係もありますので、皆さん世帯にお配りしているという認識ではございます。ただし、お聞きにならない、電源を切ってしまうという方もいらっしゃると思いますので、例えば町内の回覧であったりとか、各種方法で対応していく必要はあるというふうに認識はしております。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） ぜひ地域の中ではこのことは市のホームページに載っていますよと言われても、それに到達できない方がたくさんいらっしゃる。地域の中での格差みたいなものもあって、悩んでいらっしゃる方も実際にいらっしゃるわけなのです。そういうこともぜひ現状としてあるということ認識されながら、対応を考えていただきたいと思います。

あと1点。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 地域活性化企業人派遣事業というのは、この予算上げた段階では、こういう地域の課題があって、こういうことでそういう人材を募集しますよということは明らかにはされていないということですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 課題という部分について提示というよりは、まずは民間活力を生かさせていただきたいという発想で募集をかけております。企業側のほうの地域との連携という発想もございますので、実際のところは業務につきましてはこの方が協力いただけるというところであれば、裾野市とするとこういう課題があるという、複数提示した上で、ではこれが得意だからここで力を発揮しようというような事業と人のマッチングという順番になっていきます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

浅田委員。

○副委員長（浅田基行） お願いします。道の駅です。令和5年度は基本構想ということで、初年度始まるわけですがけれども、1点、今財政が苦しいという、前にもちょっと似たような質疑があったらごめんなさいなのですがけれども、財政が厳しい中で新しい、いわゆるチャレンジ、新しいことにして、道の駅の構想をするといった理由は何でしたっけ。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 道の駅は、公共施設ではございますが、一方で近隣で人気

ある道の駅というのは、地場の産品をそこで販売したりというような形で、最終的には地元にお金が落ちるのかなというような部分でございます。また、直接市が経営しなくても、現在はPFI方式とか、各種民間活力を導入した施策がございます。そういう意味で、裾野市としても1つの情報発信の基地、あるいは観光の拠点というような発想から、こちらの施策に取り組もうというような判断でございます。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） その辺は分かりました。

そうしますと、来年度基本構想で初年度を迎えるわけですが、一方行財政構造改革も進めつつ、6年度、7年度というところは基本構想後は予算編成ができる判断ということで今回の基本構想の初年度ということによろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 旧の中期財政計画、先だって財政課のほうからお話しさせていただきました今後の財政見通しというもので、複数年、これは道の駅だけではなく、ほかの事業も資金計画等を把握した上で、事業選定を進んでおります。委員のおっしゃられるとおり、財政計画上は執行して構わないと、可能であろうという判断がございます。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 心配しているのは、今言った財政確保する一方、要はこれまでやらなくてはいけなかったことがさらに我慢しなければあかん事業があるのではないかという心配事があったりちょっと確認したかったのですけれども、その辺というのもクリアされるということですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 行財政構造改革という言葉の中には、構造の改革という部分が入っております。数字的なものだけで判断せずに、例えば税収の偏りを変えていくとか、事業の手法を変えていく、重点的にやる部分を変えていくというような、その部分の判断でございます。ですもので、できなかったものを我慢するというよりは、これはやらないけれども、こちらのほうでまちを活性化していくというような形の構造改革というようなものも目途にしております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） この件に対しては最後。来年度、基本構想の中である程度お示しできそうな時期という計画というのはもう見えているのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 あまり候補地というものも複数は立地の状況を考えますと、多くないのかなというふうには考えております。ただし、影響が大きい内容になっておりますので、現在の段階では1年間をかけてというふうには考えておりますが、公表できるものがございましたら、随時お話ししたいと思っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 体制について確認です。デジタル部が来年度新設されるということで、業務改革課、情報システム課と2課増えますと。委員から業務内容等話があって、戦略推進課の負荷といいますか、仕事というのがちょっと確認したのですけれども、今の説明だけでいくと、デジタル部、部を設置しなくてもいいのではないかという印象だったのです。あえて部にしたという理由を改めてちょっと確認させてください。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり同一の部、同一の課、現在は私の課のところに情報システム係というのがございますが、業務に、職員自体も少ないというところから、専念するという状況がなかなかつくれません。そういう意味でやはり部を分離して、デジタル課、これは何度も言いますが、行革という部分にも多大に寄与すると思っておりますので、専任させたいという判断がございます。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 今の話だと課だと人が増えないので、部にすると人も含め、厚くできるということということですか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり業務における責任の所在をはっきりさせたいと。私の課の上には市長戦略部長もおりますが、業務が多岐にわたってございます。そうしますと、なかなか進捗が図れない場合、また判断に時間を要してしまう場合がございます。そういう意味で、一番力を入れていきたいというところから部を設置、人員の件につきましては、現在検討中と思われま。私のほうではすみません。その部分はお答えできません。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員どうぞ。

○委員（内藤法子） DXの件なのですけれども、デジタル田園都市国家構想基本方針を備えて、地域デジタル社会推進費が事業期間を延長されています、令和5年から7年に対して。それで、地方団体におけるデジタル人材の確保や育成に対する地方財政措置の創設もあります。こういう流れに裾野市はどのように向き合っていくのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはりこの1年間、副市長、及川のほうが着任されまして、デジタルを強化するというような考えでございます。その中で、デジタル系に強い方たちと人脈を、太いパイプを現在築き上げているところでございます。まだお示しできないのですが、そのような制度等も活用しながら、庁内のデジタル化を推進していきたいという考えを持ってはございます。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） DX実現のために、専門アドバイザーの派遣の制度もできました。これについても、積極的に活用するというふうに理解してよろしいのですね。

○委員長（勝又利裕） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 はい、お見込みのとおりでございます。

○委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。

分科会外議員の質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で分科会外議員の質疑を終了します。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

情報発信課

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。

則武委員。

○委員（則武優貴） ~~すみません。よろしくお願ひします。地域資源を活用した魅力のあるまちを目指すに当たって、新規移住者獲得に向けて、新年度の情報発信の目指すところについて教えていただけると。~~

~~すみません。新規移住者獲得に向けて、新年度~~

（「移住者ですか」の声あり）

○委員（則武優貴） はい。

（「暫時休憩よろしいですか」の声あり）

○委員長（勝又利裕） では、待っていて。発言を取り消して、そのまま。今の発言取り消します。

○委員（則武優貴） 発言取り消します。

○委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。

井出委員。

○委員（井出 悟） お願いします。まず、事務事業調書からもちよつと聞きたいのですが、記者会見等の実施に関してです。記者会見の実施に関する市長部局、秘書課だとか、戦略推進課だとか、その辺との連携をどうなっているかというのはちよつと確認させてください。

暫時休憩お願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

情報発信課長。

○情報発信課長 記者会見、ぶら下がり等につきましては、特にこれといって基準というのは設けてはおりませんが、その都度関係各所、市長、副市長との調整を行った上で、どのような体制でやるかというところを決めております。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 令和4年度は、定例会ぐらいを節目とした定例会見やられているのはよく見えているし、そういう情報発信はできていると思うのですが、すけれども、様々な事情によってぶら下がり等も多かつたなと思います。そういう部分で、情報発信課の関与ってどうなっていたのかなというのがあまりちよつと見えなかつたのですけれども、何かありますか。

○委員長（勝又利裕） 情報発信課長。

○情報発信課長 暫時休憩お願いします。

- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
情報発信課長。
- 情報発信課長 情報の統制等につきましては、情報発信課のほうで一応関与をさせていただいております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 分かりました。
今年度様々な発信する機会あったかと思うのだけれども、そういうことの例えば反省とか、課題だとか含めて、何かもしあれば、令和5年度で何か生かすものがあれば。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 今年初めて月例記者会見をスタートさせました。様々な事情により臨時記者会見であるとか、ぶら下がり対応であるとか、そういったことを多くやらさせていただいたわけですけれども、その中では初めての経験ばかりでして、なかなか私たちもその都度都度対応するというのが現状でございました。ですので、こういう場合にはこういう対応というのを1年やらさせていただいて、ある程度できてまいりましたので、そういった基準であるとか、マニュアルというものは作成していきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 了解。
別の観点です。シティプロモーション等の事業とも、フィルムコミッションとも関連してくると思うのですけれども……暫時休憩お願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
- 委員（井出 悟） 多くの情報、シティプロモーションに関する情報、フィルムコミッションに関わる情報というのは、多くの方に見ていただくための工夫が必要だと思うのですけれども、実際に令和4年度での取組の課題とかもしあれば、それと令和5年度、ではどうするのだみたいのもしあれば教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 シティプロモーション、ロケの支援に関しましては、いろいろ政策上の制限、発信していかどうかという制限がたくさん厳しく設けられておりますので、なかなかロケをやっている当日、その場で発信するというのは難しいのが現状です。なので、映画ですとか、そういったものが公開に当たるに当たっては私どものほうでも市のPRとともに、発信していきたい

いというふうに思っております。また、過去のものに関しましては、今年度ロケ地のアプリというのを作成させていただきましたので、そういったPRももっともっとして、皆さんに見ていただきたいなと思っております。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 撮影が終わって、例えば今日のニュースで放映されますよとか、何かの事業で、例えばなのですけども、これは消防組合だったと思うんですけども、消防組合がロケに協力したよみたいな話が聞き伝えなのです。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員（井出 悟） 少なくとも放送するようなことが分かっていることに対しては、何かもし流すような基準だとか、そういうものがあって、そこに課題がもしあれば改善してもらいたいものだけでも、令和5年度何かありますか。

○委員長（勝又利裕） 情報発信課長。

○情報発信課長 ご提案ありがとうございます。なるべくSNS等で発信できる情報というのはスピーディーに発信していきたいと思えます。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

ほかにどなたか。

三富委員。

○委員（三富美代子） シティプロモーションイベントという委託が入っていますけれども、予算額も大きいというふうに思いますが、このシティプロモーションイベントの目的は何ですか。

○委員長（勝又利裕） 情報発信課長。

○情報発信課長 こちらにつきましては、令和4年度でロケ支援をした映画、全国展開される映画作品、大規模作品が何作品かございますので、そういったものをPRしながら裾野市のPRをするというイベントを行いたいと思っています。公開が令和5年度になりますので、令和5年度の公開に合わせてPR事業を実施していくということになります。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、イベントは複数を想定されているということですか。

○委員長（勝又利裕） 情報発信課長。

○情報発信課長 大規模作品2作、中規模作品2作の4作を今のところ予定しております。トークイベントであるとか、パネル展であるとか、タイアップ

したプロモーションを行っていきたいと考えております。

- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、この委託する内容としてはどんな内容を委託するとお考えですか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 内容としては、映画の試写会であるとか、講演会、パネル展、キャンペーン、そういったものを委託する予定になっております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） その委託によって、目的を達成できるというふうな部分というのですか、それはどういうふうに捉えられておりますか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 こういったロケ地、裾野市を使っていたというところで、裾野市をPRすることによって、映画のファンの方が裾野市にお見えになって、実際に行ったロケ地を回っていただくとか、そういった関係人口の増を目的としております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 市内に流入、来られる方々が増えるということによろしいですね。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 はい、おっしゃるとおりでございます。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
ほかに。
内藤委員。
- 委員（内藤法子） 情報発信の全体でお伺いするのはすけれども、令和5年に今までいろいろ出てきたのですけれども、特に情報発信強化したい、ここを強化したいというのがありますか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 情報発信の強化というのは、今年1年間もやってきたわけですがけれども、いろいろな媒体、新しい媒体も増やしながら、必要なところに、必要な人にといいところで、そういったところを強化していきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 一番頼りにしているのは広報無線ですか、全体に行き渡るとしたら。今の段階で。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 一番は、広報紙が全戸配布になっておりますので、広報紙は

まず最初だと思います。その上で、広報無線等が出てくるかと思いますが。

- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 広報紙も月2回から1回に減ったわけですがけれども、これは増やすという予定はない。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 今のところ月1回で増やす予定はございません。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） そうすると、2番目の手段として広報無線なのですがけれども、広報無線のカバー率はどういう状況に今ありますか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 おおよそ65%ぐらいを前後しているというのが、ここがなかなか難しいところで、PRはしているわけですがけれども、そこから増えない、そこがある一定のラインかなというところで思っております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） この65%からさらに増やしたいという、何か施策は内部で検討はしましたか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 こちらのほう、広報紙等々で定期的にPR等はしておりますが、あとは交通安全キャンペーンとあって、小学1年生が無線でしゃべっていただく、こういったものがあるのですけれども、それによって新しく借りてくれるというところもございますので、そういうキャンペーンなんかで貸出し数を増やしていくというところは今後もやっていきたいと思っております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） いろいろと地道な努力分かりました。
あと、デジタル化なのですけれども、令和5年度215台更新するというところで、この更新でどれくらい更新ができるのでしょうか、全体の。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
情報発信課長。
- 情報発信課長 令和5年までで1万3,057分の2,077台になります。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 予算があってやっているのですけれども、これ終期いつまででしたっけ。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 令和10年まででデジタル化を終了したいと思っております。

- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
則武委員。
- 委員（則武優貴） すみません。デジタル受信機への交換というのはどのように行っていくのですか。
（「暫時休憩」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
情報発信課長。
- 情報発信課長 業者さんがご自宅にお伺いして、交換をして設置をします。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
則武委員。
- 委員（則武優貴） ありがとうございます。現在、難聴地域ではすごい聞き取りにくいというのが問題となっていると思うのですが、外部アンテナをつけることによってそれ解消されるのですか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 デジタル化をしまして、外部アンテナをつけますと、おおよそカバーできると思っております。
- 委員長（勝又利裕） いいですか。
浅田委員。
- 副委員長（浅田基行） すみません。お願いします。97ページの負担金補助金のところで、裾野市ロケによるまちづくりの補助金が令和5年度大分力を入れるようですが、力入れるようなところはどこになりますか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 こちらも市町村振興協会の補助金を3分の2でいただいて強化をするところになりますが、まず1つの取組としてはそういったシティプロモーションのロケ支援の担い手の育成事業というのを行います。あとは、ロケ弁等の開発によって、市内事業者さんを、関わっていただける市内事業者さんを増やしていこうという活動、それからロケのまちすその啓発事業、こういったところをやっていきたいと思っております。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 1点だけ。市政カレンダー、今回は作成委託ということで、150万7,000円ついているのですが、変化というか、今年度はたしか印刷製本費の中で処理されていると思うのですが、何か変化はあるのですか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 特に変化はございませんが、デザイン等もやっていただくと

いうところで、印刷、こちらで全部デザインまでやって印刷業者に出すというところであれば、印刷製本費でいいかというところなのですけれども、財政等々と検討した結果、デザイン等も事業者さんにやっていただけるというところで、委託費のほうがより適切ではないかというところで、印刷費から委託費に移させていただきました。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） その移動で、でも全体の金額としては減額になったということですか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 はい、減額をしております。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それに関連して、広報紙についてですが、重要なツールだと思うのですけれども、内容的に今どちらかというとお知らせで来ていると思うのですけれども、今裾野市で何が起きているのかみたいな形での情報誌みたいなことに内容をプラスしていくみたいな検討というのはなかったのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 情報発信課長。
- 情報発信課長 委員おっしゃるとおり、いろいろなこと、ただお知らせだけではなく、特集記事を組んで裾野市の現状であるとか、特に注目したい点というのは広報紙を通して発信していきたいというのは課の中で意見として出ておりますので、そういったところは令和5年度力を入れていきたいなと思っております。
- 委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。
分科会外議員の質疑はありますか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（勝又利裕） 以上で分科会外議員の質疑を終了します。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で情報発信課の質疑を終わります。

渉外課

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありますか。
則武委員。
- 委員（則武優貴） すみません。よろしく申し上げます。事業用地創出に向けてこれからというところかと思いますが、大まかな予定とかは立っているのですか。
- 委員長（勝又利裕） 渉外課長。
- 渉外課長 令和5年度で適地調査のほうを再度行う予定でございますので、その適地調査を行った結果を見てやる部分と、暫時休憩をお願いいたします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
渉外課長。
- 渉外課長 適地調査を実施するとともに、それ以外にも既存に工場造成を考えている部分については、随時作業を進めている予定であります。
- 委員長（勝又利裕） いいですか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） お願いします。今の企業誘致費のところですけども、今年度の主な事業ということでも紹介されていますが、今までの適地調査と何が違うのか、どういうところを狙っていくのかとか、特徴的なものがあるならば教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 渉外課長。
- 渉外課長 暫時休憩お願いいたします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
渉外課長。
- 渉外課長 今回の調査につきましては、新たに設定された産業集積ゾーンを新たに調査するとともに、現地に入りまして、現地の状況等も含めた調査を行う予定であります。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 今回の調査に関してなのですが、目標というか、やり方についてお伺いします。例えばこれが何ヘクタールでもいいからとにかく欲しいのだというものなのか、それともこういう事業用地、何ヘクタールずつのものが欲しいのだという目標ありきに適地調査なのか、どのような調査をされるのですか。
- 委員長（勝又利裕） 渉外課長。

- 渉外課長 今後適地として企業に紹介できる場所を探すのも含めて調査しておくのですが、現状企業さんのほうからどこか場所がないのかと言われたときに、回答しにくい状況になっています。そちらもはっきりさせるような形で適地調査をやっていく予定でおります。
- 委員長（勝又利裕） いいですか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 集会場の建設に関する218ページ確認します。今回、千福区になっていますけれども、集会場建設の事業費に関して、これまで例えばファシリティマネジメントだとかいう観点で何か議論はありましたか。
暫時休憩願います。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
- 委員（井出 悟） 集会場の建設事業に対して、ファシリティマネジメントの観点、もしくは立地適正の観点だとか、様々な観点で市としてはファシリティを減らしていくというような、大きな考えがある中、この集会場建設のありようについて、令和4年度中に何か検討されたこと、令和5年度中に行っていくことがもしあれば教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 渉外課長。
- 渉外課長 暫時休憩お願いいたします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 再開しますので、簡潔にお答えください。
渉外課長。
- 渉外課長 今後FMの観点からも必要性を含めて検討していくような形を取っていきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
よろしいですか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 確認ですけれども、220ページのほう、調節池の関係なので、この工事請負費のほうです。の国の補助金が決められて、その金額に合う内容の工事をされると思うのですけれども、その工事箇所というのも国が指定してこられるのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 渉外課長。
- 渉外課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開しますので、端的にお願いします。
渉外課長。

○渉外課長 こちらの事業箇所につきましては、地元地権者、南関東防衛局と調整しながら排砂する場所を決めているところでございます。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。

分科会外議員の質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で渉外課の質疑を終わります。

以上で市長戦略部関係の議案の質疑を終わります。

総務部

税務課

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入りますが、要点を明確に簡潔にお願いします。
- 質疑はありませんか。
- 井出委員。
- 委員（井出 悟） お願いします。附属説明書のほうでお伺いします。3ページですけれども、固定資産税の部分です。土地の部分は前年度比ほぼ横ばい、若干減ですけれども、家屋と償却資産が伸びています。これの要因というのはどのようなこと想定していますか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
- 税務課長。
- 税務課長 この家屋の増加というのが、やはり家屋の新築数が増えたというのと、あとは新築数が増えたことに比べて、抹消される、もう取り壊される建物の数が若干減っているというのと、抹消する家屋というのは評価額、要は税額ベースで見ても低いものが多いですので、その差額で家屋のほうは増えているような状況です。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
- いいですか。
- 井出委員。
- 委員（井出 悟） 家屋のほうは分かりました。償却資産の部分というのはどういう見込みですか。
- 委員長（勝又利裕） 税務課長。
- 税務課長 償却資産のほうは、実はやはりどうしても正確にはつかめない部分があるのですが、おおむね例年の中の平均値、中央値みたいな部分を算定して計上しております。
- 委員長（勝又利裕） いいですか。
- ほかにどなたか。
- 三富委員。
- 委員（三富美代子） 予算書の119ページのほうで、毎年行われていることなのですけれども、滞納整理機構の負担金ありますけれども、令和5年度はどのような滞納の整理をそちらのほうでやっていただくというような、そういう計画というのはいかがですか。
- 委員長（勝又利裕） 税務課長。
- 税務課長 滞納整理機構のほうに移管するというの、例年件数が滞納整理

機構と協議をして決まっているのですが、しばらく前までは10件だったのですが、すけれども、昨年あたりはもう20件お願いしているようになっていきます。件数が増えると、負担金も増えるのですが、やはり収納額というのは随分伸びますので、効果があるのかなというふうに思っております。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） その件は分かりました。

そこで、職員の方を派遣をしていますけれども、その派遣している職員の方からの滞納整理に係るそういうスキルといいますか、そういうアドバイスの、そういったお話をさせていただく機会というのは令和5年度どのように考えていますか。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 今出向している職員は、今年度で終わりで戻ってきます。人事当局のほうにもお願いして、話をしているのは、その職員をぜひ課に、納税の徴収部門のところに置いてほしいということで依頼しております。そうやって近くにいることで、周りの職員のスキルも上がってくるというふうに見込んでおりますので、そのようなつもりでおります。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 最初の課長の説明で、収納率の話が、総合計画で上げられている97.8%というお話がありましたけれども、掲げられているこの収納率に対して令和5年度というのはどのように取り組まれていくお考えでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 特別にか新しいことができるかということ、職員の数もありますので、すごく新しいことができるというふうには考えておりません。ただ、積極的に滞納整理、滞納処分のほうは今やっているようなことを続けていく中で、収納率のほうも結果が出るのではないかなというふうに思っています。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

三富委員。

○委員（三富美代子） あともう一点、総合計画の令和5年度の実施計画の中で、286ページにあるのですが、課題に納税者の利便性の確保を図る必要があるというようなコメントがあります。これに対して、令和5年度どういった取組をしていこうというような議論がありましたら、その辺教えていただきたいと思っております。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

- 税務課長 補正予算のときにもちよっとご説明したのですが、こんなような形で新たな納税方法、納税の仕組みというのは、こちらから積極的にやったわけではないのですが、結果的に新たな納税の仕組みというのもできてきますので、そちらについては問合せ等があれば周知のほうはしていきたいなというふうに思っております。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
ほかに。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 入湯税の関係です。令和4年度から特別徴収をするようにしたと思うのですが、その中で何か課題と令和5年度取り組まれるようなこととかいうようなこともしあればお伝えください。
- 委員長（勝又利裕） 税務課長。
- 税務課長 特段新たな取組というのは今のところ考えられないのですが、今やっている3事業者に対して適正な申告納付をお願いするようなことは投げかけていこうと思っております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） ということは、令和4年度の中で特段問題なく特別徴収ができていたという認識でオーケーですか。
- 委員長（勝又利裕） 税務課長。
- 税務課長 はい。そのように考えております。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
浅田委員。
- 副委員長（浅田基行） 入湯税のところ、令和5年度600万の予算ということで、この間補正で入湯税の絡みでありましたけれども、附属説明書の5ページの入湯税の執行状況のところ、今回予算のところというのが全て観光費という形になっているのですけれども、ヘルシーパークの運営費というところの充てるところはないということですか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
税務課長。
- 税務課長 今回のこの用途状況につきましては、税務のほうで定めておらず、財政課になっておりますので、私のほうからはお答えしかねます。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 副委員長（浅田基行） 予算書の120ページ、121ページのところで、資産税費の部分でかなり令和5年度減額になっていきます。減額の要因見ますと、委託料がかなり減っていると、先ほど航空写真の部分はあったのですけれども、

1点不動産の鑑定評価委託等の、昨年度よりかなり減っているかと思うのですけれども、その何か影響、5年度はどんな影響なのでしょう。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 こちらの不動産本鑑定評価委託も3年に1回となっております。実際に委託するときには1,600万程度の金額がかかりますので、航空写真の撮影と合わせて3,000万以上の減額となっております。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 予算書の121ページです。委託料の一番下の発災時のときに土地の所在が分かるようにという、そういう説明あったのですが、これを行うことによって業務はどのように変わるのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 今までですと、その作業って一々ページを調べてどの地点というのを確認していたのです。要はアナログだったのですが、これデータを持たせることによって、デジタル化できて、その現場の検索がとてもスムーズにいくと思います。

委員長、暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

よろしいですか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） すごく初歩的なことです。119ページ、償還金利子及び割引料のところの4項目あるのですが、それぞれの具体的な内容というか、どういう性質のものかちょっとお尋ねしたいのですが、よろしいでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 内容的にはここに記載している内容での、要はお返りする金額になります。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開します。

よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。

分科会外議員の質疑はありますか。

土屋議員。

○分科会外議員（土屋主久） 1点教えてください。聞いていいかどうかちよ

っと分からないですけれども、ふるさと納税で寄附金で1億8,000万……ちょ

っと暫時休憩お願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○分科会外議員（土屋主久） 令和3年度の例で、割合でいいのですけれども、ふるさと納税が100%として、返礼品が何%、還付金が何%、残ったものが市の純粋な収入、使えるお金になってくると思うのですけれども、いろんな事業に。その割合が分かったら教えてもらいたいのですけれども。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開します。

税務課長。

○税務課長 まだ4年度途中ですので、4年度での結果は出せないものですから、3年度でよろしければ申し上げさせていただきます。裾野市への寄附された金額というのが1億6,500万でした。これの半分が大体返礼品と手数料になりますので、8,000万ぐらいが裾野市のほうの手元に残っております。それで、翌年度に市民が今度逆にほかのまちにしたときのふるさと納税で市民税を控除する金額が1億です。ということになります。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

土屋議員。

○分科会外議員（土屋主久） 繰り返しますけれども、50%が返礼品で、それで純粋な収入が8,000万円、次年度に、納税額を返礼しなければならないので、その返すお金が1億円ということですか。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

○税務課長 返すのではなくて、当初減額する金額が1億円となります。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開します。

税務課長。

○税務課長 1億円減額というふうに申し上げたのですが、市民税の控除額として寄附金控除で1億円となります。

○委員長（勝又利裕） 土屋議員。

○分科会外議員（土屋主久） ということは、ふるさと納税は完全に赤字ということでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 税務課長。

- 税務課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
総務部長。
- 総務部長 令和3年度、先ほど答えましたように、手数料除いた返礼品が8,000万円ありまして、令和4年度の課税のほうで1億円の控除あるものから、差し引きすると2,000万円の赤字と書いていいかどうか分かりませんが、けれども、2,000万円の不足が赤字というのが出ているということです。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の質疑を終了します。
以上で第1号議案のうち関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうち関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうち関係部分に関する意見を終わります。
以上で税務課の質疑を終わります。

人事課

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありますか。

則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。よろしくお願ひします。大きく予算を削減した項目とかがってありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 大きく削減した項目はございません。

以上です。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

井出委員。

○委員（井出 悟） お願いします。94ページの部分になろうかと思ひます。令和5年度から市長戦略ということで、ビジョンとかミッションとか綱領というような職員が働く上で軸足にするような事柄を大きく特別職が示されたと思ひますのですけれども、これらの実現に向けて職員研修等で強化を図るようなところ、もしくは市長から指示があつて、職員研修等で取り組むようなところ、もしあればお伝えください。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 大きく2点ほどございます。まずは、市民への対応力の向上につきまして、次年度につきましては窓口改革実践研修という内容の研修を行う予定でございます。2点目につきましては、先ほども申し上げましたけれども、デジタル化に向けた研修といたしまして、それに伴う研修につきまして、具体的な研修は今後検討してまいるのですが、柔軟にいろいろな研修を考えていきたいと思ひております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。

あと、今回組織改編でかなり事業を移管していると思ひます。これによつて、例えば職員の時間外の関係だとか、どのような見込みになっているか、もしくはどのように改善していくのか、もし令和5年度に向けた考え方があれば教えてください。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 時間外勤務手当に関しましては、特に新しいことを考えてはございませんけれども、今年度に引き続きまして、庁議等で目標値を定めながら時間外削減、ノー残業デーを初めとする時間外の削減につきまして、引き続き押し進めてまいりたいと思ひております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） では、これからということですね。

339ページです。職員給与の関係ですけれども、例えばエの昇給に関してですけれども、2号給への昇給が昨年より10名ほど多いと思うのですけれども、この辺りというのは何か組織上の特徴とかあるのですか。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 すみません。こちらの都合なのですが、組織改編に関する人件費についての当初予算につきましては、組織改編が反映されておりませんで、この段階では例えば管理職が増えることによる影響が当初予算に反映されるかということと反映されていないという状況でございます。すみません。こちらのスケジュールの都合なのですが、予算編成時と改変時とのちょっと時間差がございますので、反映されてございません。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

井出委員。

○委員（井出 悟） ということは、これは単純に令和4年度の人員構成を見ると、昨年に比べると2号給への昇給、2号給への級上がりというのかな、それが40名ということで昨年より多いよというような見方だけでいいですか。年齢構成だけというか、組織構成によってこうなっていますという見方でいいですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 そのとおりでございます。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 予算書の88、89のところですか。事業概要のところでは人件費載せていただいておりますけれども、これ令和4年度当初と比べますと、2番目の一般職が1人減っています。3番目の会計年度任用職員も1人減っている予算になっていると思いますけれども、これはどういう影響でこういう原因といたしますか、減っているのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 全体の配置のバランスによりまして、こちらの一般管理費につきましても人員配置が1名減という形になった理由でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件分かりました。

93ページの先ほど採用試験の関係でお話あったのですけれども、そうしますと増額されていますけれども、これは試験の内容が変わるということではなくて、採用試験を受ける人が令和4年度増えたことによって、令和5年度もそれを見越して増やしたという、そういう捉え方でよろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 そのとおりでございます。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件分かりました。

あと、令和5年度の実施計画の292ページのほうに載ってございましたけれども、公務員の定年延長を見据えた計画的な採用計画の検討が必要という、そういった課題が載ってございましたけれども、この課題に対して令和5年度どのように取り組んでいかれるのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 令和5年度につきましては、令和5年度をもって通常で定年退職するはずであった職員が令和6年度の定年退職になるという職員が1名おります。なので、令和5年度につきましては影響は特には考えておりませんが、引き続き定年延長制度が完成される年度までに平準化した採用を目指すべく、採用計画につきましては定めていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。今のお話で変化があったように、実施計画の290ページのほうで人事評価制度の実施、何回かやっているかと思うのですが、令和5年で何か変えたりすることはありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 具体的な検討はまだしていないところなのですが、人事評価によって処遇等の反映の方法につきましては引き続きいろいろな状況を把握しながら、他市の事例も確認しながら改善できるものは改善していきたいと考えてございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

ほかにどなたか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） それでは、291ページで、職員研修なのですけれども、コロナも終わって、ちょっと外に出ていけると……

（何事か言う声あり）

○委員（内藤法子） すみません。実施計画の291ページの記載で、ここからします。

これまでは、予算を旅費とか削る削るという方向だったのですけれども、予算的にはほぼ同じ中でどのような工夫ができるのでしょうか。外に行かせるという心強い説明ありましたけれども。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 予算上につきましては変わらないのですが、例年決算のときについても毎年説明しているのですが、執行率がどうしても低かったという現状がございます。令和5年度につきましては、令和4年度もそうなのですが、5年度につきましては執行率を上げる中で、研修というのは私は非常に職員にとって必要なことだと思っておりますので、積極的に派遣をしたり、実施をしたりというところで、いろいろ臨機応変、柔軟に対応しながら研修を重視してまいりたいと思っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 多くの職員にチャンスがあるように頑張っていたきたいと思えます。

ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員（内藤法子） 令和5年度に対して、職員給与に関する何か見直しで改善するところがありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 引き続き、時間外勤務手当の削減について推し進めてまいりたいというところがございます。

以上であります。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 時間外手当の縮減なのですけれども、あと地域手当とか

いろいろなものがあると思うのですけれども、そのほかの部類まで広げて見直すというのではないのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 すみません。管理職手当の5%カットというのも継続して実施する予定でございます。

そのほか新しいものにつきましては、職員組合ですとか、そちらと調整をしながら随時検討してまいりたいと思っております。具体的なものにつきましては、今のところはございません。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 今現在はないけれども、令和5年度中に引き続き検討するというところで理解していいですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 おっしゃるとおりでございます。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 予算書の93ページに関連して、会計年度任用職員の方の人数が先ほどフルが78でパートが239とかっておっしゃったのですが、来年度に向かって、再雇用の人、あるいは新規で採用する部署の、その割合というのは分かりますか。人数でもいいですし。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 まだ年度が終わっておりませんで、最終的に再雇用する方と新規する方の確定はこの段階ではいたしかねるところでございます。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、令和3年度から令和4年度に向かってはどんな状況だったのでしょうか。概略でも構わないです。概数でも。

○委員長（勝又利裕） いい。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 例年会計年度任用職員さんが30人から40人ぐらいの方が退職されますその方の退職補充として雇う部分が新規雇用としてはありますので、比率からすると、そのような形の率でございます。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、基本的に会計年度の任用職員の方が1年度で

任期終わったとしても、再雇用としてはほぼ前提として雇用されているということですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 ほぼそのまま、本人に意向調査をした中で、再度任用するという意向のある方につきましては、全員ではありませんけれども、大多数の方が再度の雇用という形になってございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） その点分かりました。

あと、95ページ、負補交のところ、フルタイムの方を労災から公務災害の対象にという説明があったと思います。この辺の経緯を教えてください。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 フルタイムの方が6か月勤務をしますと、今まで事務の方ですと非常勤公務災害という制度で、現場の方、例えば保育士の方ですと労働者災害、労災保険の適用ではあるのですが、6か月過ぎますと自動的に制度的に公務災害のほうの適用になるという形になりますので、負担する先が労災保険ですか、非常勤公務災害から公務災害のほうに移ってくるという仕組みでございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 内容的に何か違いはありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 ほぼございません。どちらも同じ、ほぼというか、同様の内容の保障内容でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 暫時休憩願います。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 新設される部、課の配置というのはいつ頃決まる、今計画になっていきますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 3月の中、下旬には配置の内示を出す予定でございます。詳しく

は職員の内示をもつての公表という形になりますので、でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 分かりました。本来だったらこの委員会といいますか、この議会で、我々からすると、お示ししてもらいたかったのですが、やはり難しい状況だったのですよね。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 そうですね。やはり部署が増えるということは、配置の減る所属もあったりする中で、ただいま調整をしている最中でございますので、すみません。ちょっとお答えができないところですすみません。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 給料、300何ページでしたっけ。340ページ……

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○副委員長（浅田基行） 336ページで、2の一般職で職員数がマイナス9人という話がありました。会計年度のところ、341ページをマイナス9人で、令和5年度当初のところでは18人少ないということによろしいのですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 当初予算書の計上上はそのとおりでございます。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 今そういう状況の中で、先ほど来出ている課も増えるという、人的にとというのは不足なのか、ちょうどいいのか、まだ多いのかというと人事課としてはどういう考えでいらっしゃいますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 毎年定員調査というのを全国的に実施してございます。裾野市において、職員数がどうなのかというところがあるのですが、決して多くはないなということです。若干少ないかなぐらいでは考えてございます。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） そういう意味で言いますと、今後増やす計画というのはあるのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 現段階では、現在の定員がございまして。その定員を維持するような形で、先ほど定年延長の話もございましたけれども、10年スパンで最終的には今の人数を維持していくような形で考えてございます。細かくは、例えば業

務員について、例えば美化センターの従業員については補充しないとかそういうのはあるのですけれども、それ以外につきまして一般事務につきましては定員をそのまま維持した形で採用していく計画でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 若手、中堅、ベテランという年齢構成的な今のバランスってどうなっていますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 職種によってちょっとまちまちなのですけれども、一般事務につきましてはバランスが取れているというふうに感じております。一部職種におきましては間が抜けてしまっているところはございますけれども、全体とすると適当な年齢配置にはなっているというふうに理解しております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 1点確認したいです。先ほど人件費削減の対象として、調整分として会計年度任用職員があるというふうにおっしゃったと思うのですが、それは事実ですか。そういう意味合いのものですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 それは、例えば一般管理費における配置についてのみの話でございまして、全体で行くと給与費明細書にありますとおり、パートタイム会計年度任用職員は20名増えたりしているところでございます。なので、先ほどの話は一般管理費に限ってのお話、一般管理費というのは予備的な人員の配置をしているところなものですから、その辺についてはなるべく抑える方向、ただし重点的に進める部分についての人の配置は積極的に行うというところでございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。

分科会外議員の質疑をお受けします。

増田議員。

○委員外議員（増田祐二） 暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

○委員外議員（増田祐二） 人員配置が済んだ後に6月補正で確定するのが通常だと思っておりますけれども、今回大きな変更ですので、試算をこの段階でし

ていますでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 通常組替えは9月の補正で行われているのですけれども、すみません。今の現在の段階では人の配置がまだ決まっていない段階なものですから、試算はまだ行っておりません。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 増田議員。

○委員外議員（増田祐二） 人事課では試算をされていないということで、行革の観点からの人件費総量の協議状況というのも人事課では把握されていないということでよろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 先ほども申しあげました時間外縮減につきましては、押し進めてまいる予定ですが、その人員配置によるものは人の配置なので、総量的には特に変わらないというところですので、特にそれ以上のことは人事課としては今現在では検討してございません。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 賀茂議員。

○分科会外議員（賀茂博美） お願いいたします。令和5年度から委託に出していた事業を直営にする箇所が何点かあるかと思います。中で、生涯学習センターを直営にいたしますけれども、それに関して人事課で人員配置については何か変更はありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○委員（勝又利裕） 当初予算上は特に変更はございません。具体的には人員の配置につきまして、加配する必要があるというふうには認識してございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 賀茂議員。

○分科会外議員（賀茂博美） 加配の件は了解しました。

直営に戻すことによって、条例でも記載されていますセンターの役割を担っていく必要がありますけれども、職員研修等で何か特別に考えているものはございますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 先ほど言った窓口改革実践研修というのが間接的にはそれらの研修に当たるのかなというふうな感じでは思っていますが、生涯学習センターに特化したものとしてはございませんので、取りあえずそれに対してのものにつきましては、今のところは考えてございません。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 賀茂議員。

○分科会外議員（賀茂博美） センターを直営することで、職員が担うべき役割というのがしっかりとこれ以上明確になってきていると思いますけれども、そこに対して年度始まってからでも職員に対して研修等を積んでいくという意思はありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 今現在では考えてございませんけれども、必要に応じて柔軟に対応はしてまいりたいと思っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 賀茂議員。

○分科会外議員（賀茂博美） 同じく市民活動センターも直営に戻ってくるかと思えます。自治振興課の事務として請け負うようになるかと思えますけれども、こちらも人員配置には変化はありますか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 今現在、会計年度任用職員を公募してございますので、そちらの職員プラス常勤職員を充てる予定でございます。

以上でございます。

○委員長（勝又利裕） 賀茂議員。

○分科会外議員（賀茂博美） 同じくこちらの職員に対する研修については、どのようなことを実施していく予定でしょうか。

○委員長（勝又利裕） 人事課長。

○人事課長 現在は特別なものは検討してございません。

以上です。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

以上で分科会外議員の質疑を終了します。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で人事課の質疑を終わります。

行政課

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありませんか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） お願いします。91ページになります、予算書の。顧問弁護士、法律相談の関係なのですけれども、令和4年度どういう状況だったので、令和5年度増やしたのかというような、ちょっと現状はどうかというのがちょっとよく分からなかったのですけれども。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 令和4年度、いろいろ事故等がございました中で、例えばプリンターの事故につきましては、別途御宿弁護士のところに依頼等をしてございます。そういったことがございましたので、1か所御宿弁護士の事務所を増やしまして、今回契約するという形を考えております。
以上でございます。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 暫時休憩お願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 平和都市への推進についてお伺いします。今年度事業費が上がっていないのですが、先ほどの説明の中で教育委員会に任せて、幾つかの学校で指定した平和都市の指定をして何かやるとかという話があったと思いますけれども、この事業への取組の考え方というのはもう一度整理してお聞かせ願いたいのですが。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 こちらのほう、うちのほうで所管をしている形にはなっておりますが、教育委員会と連携して実施をしております。近年行っている方式につきましては、リモートの学習、被災地等をつなぎ、被爆地の語り部さんなどを利用したリモートの学習を実施している形になりまして、これはこれで多くの方が受講することができるということで、有効性があるというふうに考えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） そのような中で、御課の行う事業という点では何になりますか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。

○行政課長 こういったリモートの学習に関する小冊子をこちらのほうで予算化して過去に買っておりますので、それを学校のほうにお渡しするとか、間を仲立ちする形を取っている状況でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） オンラインでやりやすい形になっていることに対して、全小中学生、要は一部の学校だけにとどまっているというのは何か理由があるのですか。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

○委員長（勝又利裕） 再開します。

総務部長。

○総務部長 学校のカリキュラムでやられているものですから、全校が全市内で同じようなカリキュラムという話ではなかなかちょっと難しいようなものですから、小中学校で選んでやっていただく形になっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） だとすると、この平和の派遣だとかというのは、あくまでも手段であって、目的は平和に対する教育だと思うので、やり方を検討するとか、御課がしっかりやりやすいやり方で、しっかりと市民に提供できるような形の検討をされるようなことはなかったですか、令和5年度に向けて。任せっきりということですか、教育委員会に。

○委員長（勝又利裕） 総務部長。

○総務部長 先ほど行政課長お答えしましたように、教育委員会と相談しながらやっております、できる範囲での話での協議で現在のスタイルになっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

ほかにどなたか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 実施計画のほうで、283ページのところでお願いします。入札と契約事務の適切な執行という事業名のところですが、その内容のところに入札契約事務の定期的研修会を行うと、必要な知識の定着を行っていきますというように記載がありますけれども、具体的には令和5年度どのようにここを進めていけますか。

○委員長（勝又利裕） 総務部長。

○総務部長 先ほど人事課のほうでもご説明しましたけれども、人事課のほうの研修として行政課の職員を講師になってもらって、全職員、代表の課の職員は代表に研修会を毎年していきまして、来年度もそのような形の研修を予定しております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今回の件は理解したのですが、全職員への定着が重要だという課題のところに書かれています。そうしますと、庁内の研修の中で全員に対して行っていくという考え方ですか。

○委員長（勝又利裕） 総務部長。

○総務部長 毎年やっておりますので、もちろん職員、前年実績分かりますので、定期的に継続することによって、一遍には無理ですが、数年かけて多くの職員にやっていただくことを考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 何年かかけて一通り皆さんに行き渡るようにというふうなことでよろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 総務部長。

○総務部長 おっしゃるとおりです。また、研修の資料か何かを公開しておりますので、その辺につきましては職員が積極的に勉強するチャンスはあると思います。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） それでは、20ページ、21ページで、行政事務負担金というのがあります。これは須釜の地域だと思っておりますけれども、今何世帯ここあるのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 行政課長。

○行政課長 手元にちょっと詳しい資料をお持ちしていませんが、おむね40世帯ぐらいがこちらにいらっしゃいます。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 40世帯ぐらいあるということですが、これ増減とかあまり変化はないのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 行政課長。

○人事課長 おおむね世帯数の変動は少数にとどまっている状況です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

- 委員（内藤法子） 以前これはやっぱり裾野に編入したいとかいう地域の要望とか随分前あったのですけれども、最近はそのような要望とかもうないという事で理解していいですか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 特段そういった意見は耳に届いている状況ではございません。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 58ページ、59ページ、不動産売払収入なのですけれども、令和5年度に売りたいと、先ほど何か道路敷と河川敷とおっしゃったのですけれども、具体的に何か所ぐらいあるのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 こちらの具体的な箇所数は取りまとめたものがなくて、過去の実績等を勘案して計上している形になっております。別途鑑定の手数料等を上げている部分がございますが、これについては2か所ございまして、1つが二ツ屋のクリエイトの前のところ市有地があります。そちらが1件、それからもう一つがエーユー製作所のところが1件という形で、主には2件鑑定の手数料は計上して売却を検討してまいるという状況になっております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたかありますか。
岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 57ページに市有物件等貸付料があるのですが、担当は自治振興課になっていて、公民館。これはここでも聞いていいですか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 今回から変わりました、自治振興課のほうの管轄になっていて、
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、担当で聞くとして、こういう……
- 委員長（勝又利裕） ちょっと暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開しますので、岡本委員続けてください。
- 委員（岡本和枝） これまでもこのところの貸付料というのは、収入としてどこに入っていたものなのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 もともとここに計上はございまして、今回組織改編に伴いまして、担当部署が変わったという形になっております。
以上です。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） この公民館敷地の貸付料ってひょっとしてどこの公民館のことでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 こちら公文名5区の集会場の用地の貸付料ということです。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 市有地に公民館を建てているという件数というのは何件ありますか。この5区以外に。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
行政課長。
- 行政課長 調べまして、後ほどご説明をさせていただきます。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） たしか何か所かあると思うのですが、そのところからは貸付料は取っていないくて、無料で借りている状態だと思うのですが、そこもちょっと資料がないと不明ですか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
行政課長。
- 行政課長 こちら市有地になっているものにつきましても、もともとその地区等から寄附をいただいた場合がございます、そういった場合については使用料がかかっていない場合がございます。それ以外にもともと市が持っている場所について、目的外で使用したいという場合について使用料を取っているパターンがございます、この件についてはその件に、パターンに該当するものでございます。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） たしか鈴原区は以前借地料として支払っていました。それが今はもう無料の状態なのですからけれども、その理由というのは分かりませんか。
- 委員長（勝又利裕） 大丈夫ですか。
暫時休憩します。
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
行政課主幹。
- 行政課主幹 鈴原公民館につきましては、現在市の土地の上に市の集会所と

して設置がされておりますので、貸付料のほうは徴収されておられません。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 地区の公民館でも地元が建てたものであっても、公の施設という認識をするということではできないのでしょうか。公の……

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開します。

○委員（岡本和枝） それでは、この質問終わりにしますが、ただ1つ、公文名5区で、ここだと7万1,000円ですが、年額として取ることの妥当性みたいなものがどうなのか、その辺はどうなのでしょう。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 こちらのほうのものについて、あくまでも地区の集会所ということでございますので、基準にのっとりまして使用料を徴収しているという状況でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） その件は分かりました。

次に、もう一点、129ページ、静岡県議会議員選挙費の中ですけれども、投票用紙のリサイクル委託20万円が載っていますが、これはどのような事業でしょうか。

○委員長（勝又利裕） 行政課長。

○行政課長 投票用紙、今までは単純に廃棄処分をしておりましたが、環境に配慮するというので、残投票、残った投票用紙とか、そういったものについては単純に廃棄の処分をしておりましたが、環境に配慮ということで今回からリサイクルをしていくということになりまして、計上させていただいている状況です。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） この投票用紙は何か任期の間保存をしておかなければいけないとかというような決まりというのがあるのですか。

○委員長（勝又利裕） 行政課長。

○行政課長 あくまでもこちらにつきましては、残投票、使わなかった投票用紙についてリサイクルをするということでございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 使わなかったものを、選挙が終わったときに破棄する、だけれども実際の投票用紙についてはどのような対応でしょうか。

○委員長（勝又利裕） 行政課長。

○行政課長 あくまでも投票用紙は、保存年限が決まっておりますので、おおむねその任期中までは保存されているという状況でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） では、その任期が4年とかが終わったら、今度リサイクルに出すという考え方なのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 行政課長。

○行政課長 あくまでもそちらについては、廃棄について厳密性が要求されますので、焼却処分等になるかと思えます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

いいですか。

浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 1点お願いします。103ページの車両管理費のところ、111台に台数が減ったということで減額とありました。令和5年度111台ですから、恐らく車検があるかと思うのですけれども、令和5年度の車検というところは需用費のところにあるのですか、車検代というのは。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 こちらの修繕費の物件のほうに入っている状況になっております。ただし、担当課で持っている車両もございますので、そちらについてはこちらに計上されていないという状況でございます。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○副委員長（浅田基行） 計上されている分で何台分かというのはお分かりですか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

行政課長。

- 行政課長 財政課で持っている分については12台でございます。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 副委員長（浅田基行） 令和5年度、単刀直入に確認しますけれども、車両の台数というのは令和4年度10台だったのですけれども、令和5年度は減らす計画というようなものはあるのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 行政課長。
- 行政課長 現在、まだ台数は確定しておりませんが、適正化を図っていききたいというふうに考えておりました、削減は考えている状況でございます。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。
分科会外議員の質疑をお受けします。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外議員の意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で行政課の質疑を終わります。

行政課（答弁漏れ）

- 委員長（勝又利裕） まず最初に、総務部行政課長より、昨日の答弁漏れについて発言の申出がありましたので、これを許します。
行政課長。
- 行政課長 行政課から答弁漏れの1件についてご説明いたします。
市有地のうち集会所敷地として貸付けしている件数でございますが、これは9件でございます。このうち有償で貸し付けているのは公文名5区の1件のみという形になっております。
以上でございます。
- 委員長（勝又利裕） 委員の皆さん、よろしいでしょうか。
以上で答弁漏れについて終わります。

検査監

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありますか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） すみません。令和4年度の何か課題、それを改善するために取組で令和5年度やることとか、何か特徴的なものはありますか。
- 委員長（勝又利裕） 検査監。
- 検査監 令和4年度につきましては、コロナの感染防止のために検査員の研修等、検査員連絡会等が開催ができませんので、そちらを何とか開催に、ほかの市町との関係もありますけれども、開催を行って検査技術の向上と情報交換に図っていきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
ほかにどなたかありますかでしょうか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） お願いします。予算的には毎年変わらずというような状況ですけれども、この中で検査に当たるための専門的な知識の習得ですとか、あと情報収集についてはどのようにこの令和5年度はされていかれるのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 検査監。
- 検査監 工事検査につきましては、継続して行うことですので、特に特殊な技術について学ぶということはないのですけれども、通常と同じような形で例年と同じようにやはり仕様書とか基準所等を読む、あと先の検査員連絡等を通しての疑問点をお互い情報交換するという中で把握していくということになります。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、この予算で大丈夫ということでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 検査監。
- 検査監 この工事 このとおりでやっています。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。
分科会外議員はいないですね。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関

する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(勝又利裕) 分科会外議員はなし。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で検査監の質疑を終了します。

以上で総務部関係の議案の質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって散会いたします。ありがとうございました。

15時21分 散会

9時00分 開会

○委員長（勝又利裕） 皆さん、おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

○委員長（勝又利裕） 本日の日程はお手元に配付のとおりであります。審査の方法は、昨日と同様に、当局の説明を求めてから質疑に入ります。発言の際には録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

環境市民部

生活環境課（第1号）

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。質疑に入りますが、質疑、答弁は要点を明確に簡潔なものでお願いをいたします。質疑はありませんか。

則武委員。

○委員（則武優貴） おはようございます。予算書199ページのし尿処理指導費の内訳というのは何か、詳しく教えてください。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時12分 休憩

9時12分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 浄化槽の補助金が主なものになりまして、新規の合併浄化槽、あとは単独浄化槽から合併浄化槽の入れ替えるものに対しまして補助金を出すものになります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

ほかにどなたか。

井出委員。

○委員（井出 悟） すみません。ちょっと聞き逃したかもしれないので確認ですけれども、185ページの環境保全費のところの負補交も御課ですよ。燃料電池だとか、太陽熱だとか、そういう補助金の関係も御課でよかったですよ。

- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時14分 休憩

9時14分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 185ページの4款1項4目の18節、659万円の各種補助金の関係ですけれども、前年度並みということで説明がありましたが、令和4年度ですそのd eカーボンを策定して、当市としてカーボンニュートラルの実現に向けた取組を、他自治体と比較して比較的早くロードマップ示したと思うのですけれども、それに対してこの辺を前年度並みという形で取り組むような温度感というのは何かどういう議論があって令和5年の予算になったかを教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 このエネルギー補助に関しましては、直接そのd eカーボンで、暫時休憩で。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時15分 休憩

9時16分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課長。
- 生活環境課長 この負担金のところでは、直接的に見える化にするものはないものですので、同等額として予算計上になっております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 分かりました。この例えば環境系のカーボンニュートラルに資する取組の政策を立案する際に、そのd eカーボン等を使った議論はされているという、その上でこういう形になっているというふうな認識でよろしかったですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今具体的な取組の中で、予算的なものをつけるものとしては、当初予算では考えていなかったのを入れていないという、そのような考え方です。

以上です。

(「暫時休憩お願いします」の声あり)

○委員長(勝又利裕) 暫時休憩いたします。

9時16分 休憩

9時17分 再開

○委員長(勝又利裕) 再開いたします。

どなたかありますでしょうか。

内藤委員。

○委員(内藤法子) お願いします。それでは、予算書のほうの28、29の狂犬病予防注射登録数と、畜犬登録手数料の90万円です。昨年度これ120万円で、1頭3,000円掛ける400頭の計算だったと思います。これ90万円になると、3,000円掛ける300頭で100頭減っているのですけれども、この算出根拠は。

○委員長(勝又利裕) 生活環境課長。

○生活環境課長 前年度並みとしております。

○委員(内藤法子) 一緒ですか。

○委員長(勝又利裕) ちょっと待ってください。

暫時休憩いたします。

9時18分 休憩

9時19分 再開

○委員長(勝又利裕) 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 令和3年度の実績の金額に合わせたものになります。

○委員長(勝又利裕) 内藤委員。

○委員(内藤法子) 今ペットってすごく増加傾向にあるのですけれども、それは見込んでいないということで。

○委員長(勝又利裕) 生活環境課長。

○生活環境課長 令和3年度の実績が88万8,000円ですので、ちょっと上なぐらいの金額にしています。

以上です。

○委員長(勝又利裕) 内藤委員。

○委員(内藤法子) その件、分かりました。

それでは、今度は猫なのですけれども、184、185ページの総合計画の実施計画のほうから132ページを見ますと、猫の繁殖力が強くて課題として挙げられています。TNR活動。これは、5年度に向けてどのように展開していき

ますか、この予算で。

- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今年度並みなのですけれども、ボランティアさんと共に避妊去勢をしながら増殖しないような形を考えながら進めて行く予定でございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 特に課題と挙げられていて、本当にまちなかが増えていていると思います、追いつかない状況で。なので、ここに予算として特に上げなくても、どんな工夫でより効率を上げていきますか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 地区との……
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時21分 休憩

9時21分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課長。
- 生活環境課長 今ちょっと増えているところ、上ケ田、今年度もやっているのですけれども、それと下和田地区で地区を絡めた中で、要は増えていくものを抑えていくように考えているところでございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） ボランティアさんと協力してということでしたけれども、ボランティアさんの数は減少したりはしていないでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 ボランティアさんは1団体なのですけれども、かなり規模大きいものでやっつけるところで、人も多く大丈夫だと思っております。
- 委員長（勝又利裕） ほかによろしいですか。
岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 185ページ、環境衛生管理費の中で、昨年度、報償金として9万円載っていたと思うのですけれども、今年度はそれはないのはどういう理由でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時22分 休憩

9時23分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課長。
- 生活環境課長 それは、今年度まで報償費として狂犬病の予防接種の集団接種で計上しておりましたけれども、今年度から廃止をしましたので、削除しております。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、集団から個別接種になったということですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） その集団の接種、それをなくされた理由というのは。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 2年ぐらい、もうコロナが始まりだしたところから集団接種のほうを見合わせておりました。予防接種のほうも二、三年この中で減らずに、例年並みにやるというところもありますので、個別に皆さん対応してもらうような、そのようなものに切り替えたものになります。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 次、そのところで、墓地繰り出しを行わないという説明がありましたけれども、ちょっと早くてついていけなかったのもう一度分かりやすくお願いできますか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 もともと借金のところなんです。一般会計から頂きながらやっていたのですけれども、今年度は墓地を造成して、墓地を売る話になります。その売ったお金を借金に充てるようになりますので、今回は一般財源からお金を頂かないでもできるというような見込みとして計上をしていないということになります。
- 以上です。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 199ページのし尿処理費の関係です。浄化槽の関係ですけれども、負補交等で設定している補助金に関しては、全体の計画として正しく適正に遂行できる状況の予算組なのか、もしくは予算の上限、アッパーを決めてここまでしかできないというものの金額になっているのか、どのような計画に基づく事業になっていますか。先ほど件数いろいろ言われましたけれども。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 余裕をもった形の中で、アッパーを決めるというよりは、例

年並み、ごめんなさい、ちょっと暫時休憩でいいですか。

○委員（井出 悟） 事業推進ができるだけの予算を組んだということですね。

○生活環境課長 そういふことです。よろしいですか。

○委員（井出 悟） そう言ってください。

○生活環境課長 事業推進がしっかり見込める中での予算組を行っております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 了解しました。

その下ですけれども、長泉町との衛生施設組合の負担金ですけれども、先日他の議案で事務所の移転をして、2名体制による人件費の削減ができますということなのですけれども、それに対して当初の予算は昨年度より増になっています。この辺のからくりというか、どのようなロジックになっているのかをちょっと教えてください。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 かなりこれ増額になっているのですけれども、やはり光熱費の増という形の中で、光熱費の中で全体で4,000万円ぐらい上がっています。なおかつ、今年もちょっと燃料高騰の、ちょっと暫時休憩で。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時27分 休憩

9時29分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 光熱費等でかなり金額が伸びています。ただ、人件費、前回の併任という形で戻してくるという話の中での減額はされていないので、ここからは削減されるような形で少しは減ることになります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今人件費の話が出たのですけれども、歳入のところで50%の負担の収入ありますよね。それとの関係はどうですか。今の話でいくと。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時29分 休憩

9時33分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課長。
- 生活環境課長 その分のものには入ってございません。歳入の分の中にはさ
っきの減額とは別物で、入ってございません。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 別件です。歳入のほうで36、37ページに載っていま
した環境衛生費補助金なのですけれども、減額になっています。これ歳出のほ
うで20基でしたっけ、減らしているというお話があったのですけれども、そ
の影響で減額になったというふうな捉え方でよろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 同様に、48、49ページのほうでも環境衛生費補助金、
こちらのほうも前年と比較しますと減っていますけれども、これも同じ理由
ということでよろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
以上で委員の質疑を終了します。
次に、分科会外委員の質疑をお受けします。
小林議員。
- 委員外議員（小林浩文） これ墓地のほうで聞けばいいのか分からないです
けれども、廃目処理をしていた令和5年度の繰出金、これはもう5年度限定
の措置ということで理解していいですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 墓地が売れば入ってきますので、来年度は……
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時36分 休憩

9時36分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課課長代理。
- 生活環境課課長代理 一度予算上消えた初年度については、ちょっと財政の
ほうになってしまうのですけれども、初年度は廃目整理という形で表示され
るのです。それは、システム上の事情ということになっておりますので、売
上げとかその辺りに因果関係によってはまた計上する可能性はゼロとは言え

ません。

以上です。

○委員長（勝又利裕） よろしいですか。

小林議員。

○委員外議員（小林浩文） 管理運営の将来見通しというのは、また墓地事業のほうで改めて伺わせていただくようにいたします。今の件は理解をいたしました。

○委員長（勝又利裕） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

生活環境課（第5号）

○委員長（勝又利裕） 説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。今回4号墓地に取りかかるとのことですが、今後さらに墓地を増やしていくという検討というのはされていますでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時41分 休憩

9時42分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 4号墓域の状況を見ながらと判断しておりまして、今は5号墓域のことは考えてございません。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） 私の情報、間違っていたらすみません。市営墓地常につばいだとお聞きしているのですけれども、この件について市民の方からもっと増やしてほしいとか、そういった要望というのはありますか。

- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今まで欲しい方々はキャンセル待ちという形の中で待っておられましたけれども、ちょっと今はいない状況になっております。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） よろしくお願ひします。まず、465ページですけれども、墓地事業整備費のところかな、墓地事業費、現地視察もさせていただきましてけれども、4号墓域の区画整備で、暫時休憩お願ひします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時43分 休憩

9時43分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 墓地区域の中に駐車場等を設けるような計画になっていたと思います。要は車を一時的にとめるようなスペースに関しては、例えば道路側にユニバーサルマークをつけてとめられるようにするとか、いろいろ策があると思うのですけれども、ああいうような設計になった何かいきさつだとか、考え方があったら教えてください。

- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 4号墓域につきましては、駐車場が上下あるのですけれども、フラットでないところ、あと前面は市道になっていますので、中のところに3区画を設けさせてもらっております。

- 委員長（勝又利裕） よろしいですか。
井出委員。

- 委員（井出 悟） 分かりました。
465ページの27、事業費の繰出金ですけれども、一般会計の繰り出しをしています。これ繰入れでは一般会計の繰入れがないのですけれども、繰り出しをする何か理由とかというのはどういう意図があるのですか。

- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今まで造成費でかかってきた、ちょっと暫時休憩お願ひします。

- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時44分 休憩

9時46分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課課長代理。

○生活環境課課長代理 事業費系の基金を、今管理費の基金はあるのですけれども、販売収入について、過去からの負債もあるのですけれども、それを充てるための基金を積むという法則も一つ財政とも協議したのですけれども、そこはちょっとつukらないということで、販売収入から過去に関する償還に充て込めた残りについては今まで一般会計からお借りしていたもので、今度は繰り出しということで、財政課のほうのお財布に入れるという判断をいたしました。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） そういうことであれば、通常というか、こういう事業として別のもので、例えば減債基金を事業の中でつukるとか、何かそんなようなふうにも考えられるのだけれども、どういう考え方が一番いいのかという議論はされたのですか。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 その辺の話はさせてもらっていましたがけれども、ちょっと暫時休憩でいいですか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時47分 休憩

9時48分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 財政のほうとは協議はさせてもらっております。一般会計のほうに戻すべきものだということでこのような形になっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 最後です。区画の再販売、リセールというのですか、墓じまいをしたりとか、返還をした墓を再利用するという形の部分に対する必要な予算というのは今回何かあるのですか。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時48分 休憩

9時49分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課長。

- 生活環境課長 特に予算にはしてございません。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） お願いします。まず、確認なのですからけれども、令和5年度の墓地の整備、こちら区画は210区画ということによろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） その工事なのですからけれども、工事のスケジュールといますか、どのようなふうに関和5年度進めていかれるお考えでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 早期発注、4月、5月中ぐらいまでには発注を行って、約半年ぐらい、秋口ぐらいからの販売を考えております。
- 以上です。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、工事期間はそれほど長くかからないということで、令和5年度中には墓地の販売を行うということによろしいですね。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 歳入のほうで見込みで20区画の墓地使用料、こちらのほうが計上されておりますけれども、この20区画というふうに設定されたのは、その理由は何でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 三、四年ぐらい前までのちょっと販売実績を見ながらにしてあります。ですので、ちょっとここずっと販売期間なかったものですから、その関係はちょっと分からないのですけれども、一応そこをあてにしております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今のお話ですと、前回整備されて直後にそれだけの販売は可能であったので、今回もそういう見込みで計上されたということによろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。

- 委員（三富美代子） 最初の説明の中で、3市3町にPRをというお話がございましたけれども、この3市3町の販売をできる範囲、それをもっと広げていくような、そういった議論というのはありましたでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 基本的に市営墓地という関係の中では、今は3市3町までというふうに考えております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 非常に現地は富士山の景観もいいわけですので、もっと首都圏の方にも広げて行ければ購入される方も多いのかなというふうに私は感じておりますけれども、今後またいろんな面でご検討するお考えはありますか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 基本的にはやはり市営墓地という形の中で、市民にやっぱり優先してもらいたい思いもありますし、市民の方が使っていただきたいというところがありますので、販売の売行き状況などを加味しながらで、その辺は今後検討していくこともあるとは思いますが、
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 引き続きお願いいたします。初年度20基ということで、今現在は現地視察のときに待機ゼロと聞きました。三、四年前の実績から、1年間に20基、そうすると210は10年かけて売るといふ、販売するといふ計画でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 売行き状況を見ながらになってきますので、来年度、要は募集したときに実際にどのくらいが入ってくるかというところがやっぱり始点になってくると思います。それを見ながらで、先ほど三富委員がおっしゃったことも含めながら物事はちょっと進めていきたいなというふうには思っております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） この3号墓域を終わって、そして新たに4号墓域造るに当たって、改めて市民のニーズ調査というのはしたのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 ちょっと暫時休憩いたします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時54分 休憩

9時55分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課長。
- 生活環境課長 市民アンケート調査より、まだ市民の方でも売れる見込みがあるというふうに考えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） もともとこの市営墓地の発端の議論は、裾野市が工業誘致、企業誘致で外から来た人がここがふるさとになるということ、墓地が必要ではないかということだったと思います。ところが企業も出ていったという減少がある中で、ちょっと私はニーズというのは見直さないといけないと思っていることが一つあります。
それで、この実施計画の中の課題の中にも、社会意識の変化に伴い新しい形態の経営を検討が必要であるということが書いてあります。その4号墓地の中にも新しい形態、折衷案として半分はこれを例えば樹木を……
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員、だんだん質問形式が……
暫時休憩します。

9時56分 休憩

9時56分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
内藤委員。
- 委員（内藤法子） 新しい形態を取り入れて、新しいニーズを拾うという検討はなかったのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 生活環境課長。
- 生活環境課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

9時56分 休憩

9時57分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
生活環境課長。
- 生活環境課長 一応4号墓域は通常どおり造らせてもらいまして、それ以降のものの中で考えたいなというふうには思っているところでございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） では、最後に1点。一般会計から繰り入れるという形はやっぱり避けていかないといけないので、販売に力を入れていただきたいのですが、民間は常時広告とか出しているのです。市役所は、何回か日にちを、販売のチャンスが少ないような気がします。だから、販売に力を入れるための議論、だからこの予算のとおりに進むように、そういうための体制というか、そういうものは議論されていますか。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 一応今思っているのは、工事が始まった段階で1回PR、間ぐらいに1回PR、終わる頃もう一度というような形で、何回か分けながら公告したいというふうに思っています。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 工事が始まったときからいち早く同時進行で取り組むということで、ありがとうございます。頑張ってください。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） バスとかタクシーとか、市民優先して使ってもらいたいといっても実際にその後の交通の問題というのがとてもネックとして残っていると思うのですけれども、令和5年度の中でその辺の検討とかなんとかのお考えってありますか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

9時59分 休憩

9時59分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 そこは検討してございません。検討はしていません。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 検討はしていないということなのですが、この問題はもう当初から出ていて、期間限定でも構わないから行き来できる対策を取ってほしいというのはとても最初からあるのですけれども、検討のお考えというのはもうこれからはないということですか。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 かなり予算もかかってくるものもありますので、難しいかなというふうには思っています。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 予算というのは使うものであって、必要な予算、そのこ

とによって本当に予算が生きてくるというふうを考えていく必要というのはとてもあると思うのです。いかがでしょうか。

○委員長（勝又利裕） ちょっと一般質問みたいな感じになっているものから、今のだけ受け付けますので、お答えください。

生活環境課長。

○生活環境課長 ちょっと墓地特会の中でやっていく話になりますと、管理料でやっている事業になりますので、また一般会計の中でその辺は考えていくものというふうに捉えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。

分科会外委員の質疑はありますか。

小林議員。

○委員外議員（小林浩文） お願いします。まず、今ある基金は将来を含めた管理運営のためで、償還財源は販売した使用料という整理になっているかと思うのですけれども、ここで4号墓域以降の今後の計画、公債の償還等を含めて計画を新たに立て直しましたか。立て直したかどうかということ伺います。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 細かくはやっておりません。

○委員長（勝又利裕） 1人1問にさせていただきますか。

次、増田議員。

○委員外議員（増田祐二） 463ページの歳入の部分なのですが、墓じまいに関するところというのは見込まれたものでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 見込んではいません。

○委員長（勝又利裕） 増田議員。

○委員外議員（増田祐二） 3年度までの実績等は勘案された上で見込まなかったのか、それとも勘案しないで見込まなかったのか、その点をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 あくまでもこれは4号墓域についての考え方として入れさせてもらったという考え方です。

○委員長（勝又利裕） ほかに。

勝又豊議員。

○委員外議員（勝又 豊） お願いします。今回20区画ということで、1区画の広さ、これをもう少しコンパクトにして、それですることによって、結構

市民の方からもう少し値段が安ければいいのになという意見もありまして、これをもう少しコンパクトにして販売するという検討はされたかどうか。

○委員長（勝又利裕） 生活環境課長。

○生活環境課長 コンパクトにする考えはございませんで、今までと同じ大きさのものでやっぱり進めたいという思いがあって今回のようにさせてもらっています。

○委員長（勝又利裕） 以上で分科会外委員の質疑を終了します。

以上で第5号議案に関する質疑を終わります。

これより第5号議案について意見を伺います。

賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第5号議案に関する意見を終わります。

以上で生活環境課の質疑を終了します。

美化センター

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑ありますか。

則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。リサイクル推進事業について教えてください。古紙類を中心に集める運動や資源ステーションの活用がされていると思いますが、年間どれぐらいの収集への減少につながっているか教えてください。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時15分 休憩

10時16分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター所長。

○美化センター所長 民間の施設は把握していないものですから、分かりません。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。では、ちょっと別の観点から、リサイクルという問題はやっぱり一生つきまどっていく問題かと思うのですけれども、何か市で呼びかけだったり、独自の活動は行っていますか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

10時17分 休憩

10時17分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター所長。

○美化センター所長 広報無線、広報紙などで呼びかけを行います。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） では、今度実施計画の135ページで、内容の中で④番のその他リサイクル推進関連事業を行いますと書かれているのですが、詳細について教えてください。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時18分 休憩

10時19分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター主査。

- 美化センター主査 ごみ減の推進協議会など、そういった形のことを、あとごみステーションとやはり広報活動という形になります。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） 井出委員。

- 委員（井出 悟） 今ちょっと則武委員の聞かれたところを少し確認します。予算書の73ページでじんかい処理費の資源ごみの売却料、これ昨年度より上がっているけれども、売却単価が上がっているよという話なのですけれども、市の収集量は減少が進んでいるという話を以前からしていると思うのだけれども、来年はどういう見込みですか。

- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

- 美化センター所長 古紙とか何かはやはりちょっと下がるかなと思っています。あと金属類に関しましては、分別処理をやりながら、できるだけ維持していく予定でございます。

- 委員長（勝又利裕） 井出委員。

- 委員（井出 悟） 今の所長が言われた維持の部分ですが、維持もしくは向上の部分だけれども、事業計画にも実施計画にも書かれていますけれども、減少傾向にあることに対して、それを維持もしくは向上させるための取組、何か令和5年度でやることってありますか。

暫時休憩をお願いします。

- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時20分 休憩

10時20分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター所長。

- 美化センター所長 先ほど言った広報啓発で呼びかけるものとなります。今民間でも集めているところも多いものですから、古紙に関しましてはちょっと難しいと思いますけれども、基本的には呼びかけも継続的にやっていくように考えております。

- 委員長（勝又利裕） 井出委員。

- 委員（井出 悟） 最後、実施計画にも書いてあるのだけれども、有価物と逆有償になるものもあると思うのだけれども、引き取りの考え方というのはどのように整理されているのですか。

暫時休憩をお願いします。

- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時21分 休憩

10時21分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
美化センター所長。
- 美化センター所長 基本的にはやはりリサイクルの推進は行っていくべきものと思っていますので、しっかり引き取りをして分別してリサイクルを行っていききたいというふうに考えてございます。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） では、別の部分行きます。197ページ、一般廃棄物等の委託料の部分ですけれども、令和5年度大きな転換点を迎えるのかなということで、一般廃棄物の収集運搬委託の計上ですけれども、これまで市が議会の中で答弁されていた業務の確実な遂行を第一に考えて現在の契約方式だというものをずっと言っていたと思うのだけれども、今回変えるに当たってどういう議論がなされて、市が今まで言われていた業務の確実な遂行を第一にするという部分がどうやって担保されたのか、ちょっともう一度整理して教えていただけますか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 今回変えたというのは、財政的なものの逼迫しているものもあるという中で、業者を増やしたいというものも踏まえた中でちょっと何かできないかと。そういう中で行っております。その中では、一般廃棄物許可業者、市内の許可業者で市内にある業者であれば、更新をある程度行っている業者であれば問題ないというところで見直しを図ったものであります。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 入札した結果、随意契約との価格の差とか、そういうものはどういうふうになったのですか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 結果的には今までの随意契約の金額よりは上がっているのは事実です。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） それに対してどういう評価をされて、契約方法等の在り方、どのような整理をされていますか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

- 美化センター所長 燃料高騰とかいろいろなものありますので、実際問題、今年の随意契約と来年度の入札結果というのが思っていたものとはちょっとひっくり返ってしまったのですけれども、社会状況の中ではやむを得ないというふうに判断しております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） そのようなお考えに基づくと、197ページの12節ですけれども、御課の部、委託はかなり随契が多いということは以前から決算審査でも指摘されているのだけれども、そのほかの契約に関して今回見直したようなところはありますか。今言われたような燃料高騰を受けて見直さなければいけないとかいうようなことで見直されたところはありますか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 基本的に見積り聴取をしながら行っているものが多いです。その中でやはり金額は全体的に上がってしまったというのは、今回の結果になっております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 最後です。今回一般廃棄物収集委託が一般競争入札になりましたけれども、そのほかの委託に関しても、今後長期継続契約等を結ばれるようなお考えとか、検討だとか、そういうものはどうなっているのですか、御課のお考え。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 長期継続でできるようなものは長期継続で行いたいというふうには思っております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 確認です。ということは、今までの随意契約から見直していくということが進められていくと、令和5年度にかけてそういうことを検討されていくような年になるということの認識をしいということですか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 長期継続をできる事業は決まっていますので、その中でやれるものはやっていきたいと思っています。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 長期継続に資する契約は、条例で市民の継続的サービスに資するものということだから、どんなサービスもできるはずなのですけれども、そういうことですよね、だから。今まで言われた随意契約の考え方からしっかりとこの市民の確実な履行を第一に考えて様々な契約方法を選んでいくよということが今回示されていると思うのだけれども、そういうことが

進んでいくという認識をしてしまっていていいということですね。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 行政課のほうで出されている指針の中で決められている事業があります。その中でできるものはやっていくというような考えでございます。

○委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
三富委員。

○委員（三富美代子） お願いします。同じ今の委託の中の話なのですが、運搬委託の関係は燃料の高騰とかという、そういう話がありましたけれども、下から8つ目の焼却委託なのですが、これ令和4年度と比べますと金額が下がっていますが、これはどういうことで減額されているのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 令和4年度、これ債務負担行為で行いまして、そのときに、暫時休憩をお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時27分 休憩

10時28分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。
美化センター所長。

○美化センター所長 入札結果によるものです。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件、分かりました。

201ページの一番上の役務費のところなのですが、先ほどのご説明で土地の鑑定ということのお話があったのですが、これ土地の鑑定が必要になった理由は何ですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 最終処分場の土地、今借地なのですが、可能ならば買い取りたいというものを前提として地主交渉して、そのものの交渉の材料に使うための土地鑑定料になります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、この鑑定をいつ頃までに終わりにされますか。令和5年度途中にもできるものなのですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

- 美化センター所長 今年度中にはできますので、それをもってやっぱり交渉はしていきたいというふうに思っております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、令和5年度は交渉ができるようなデータなり、そういったものを用意をして、次の年に交渉に入るといふ、そういう考え方ですか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 結果が出ればそれ以降はできますので、できるだけ早い段階で進めたいと思っております。
- 委員長（勝又利裕） よろしいですか、ほかに。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 委託料のところでもうちょっとご確認させてください。一般廃棄物収集運搬委託が1,000万円以上今回上がっているということで、先ほど委員のほうからのご質疑あった回答で、今回なぜ入札したかということと回答あったのですけれども、今回入札するといった回答の中で、許可業者がある程度できるようになればという話がある中で、今回いろいろ緩和したという部分があったかと思えます。その辺緩和した理由は何だったか教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 今まで10年という年数を区切りにしてはいたけれども、今回許可更新3回というふうにしております。許可更新は2年に1回なのですけれども、10年だと5回になるのですけれども、どちらでも遜色ないというふうに判断した中でこのようにさせてもらっています。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 10年5回と6年3回の遜色ない2回分という理由はなんですか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 ある程度というところの階数、数字の中で、3回やれば問題ないかなというふうに捉えたものとなります。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 暫時休憩願います。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時31分 休憩

10時32分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 今、大丈夫かな、3回で大丈夫かなという答弁ですけれども、根拠である基準とかということで答弁もらえないですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 更新時の許可のときに出していただく書類を見た中で、問題ないというふうに判断するというので、3回で問題ないというふうに判断させてもらったものになります。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ごめんなさい。その書類の中の何を見て問題ないとなったのですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 許可更新できていければ……

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時33分 休憩

10時38分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

環境市民部長。

○環境市民部長 基準の関係ですけれども、これまで更新でいきますと10年5回という基準につきましては、3回6年以上許可更新をしているものについて基準を満たしていけるということを判断いたしました。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その結果、課長のほうからは今回入札の結果で金額が高くなった、やむを得ないという話がありましたけれども、その辺の結果が増えたやむを得ないという理由は何ですか。

○委員長（勝又利裕） 環境市民部長。

○環境市民部長 暫時休憩お願いいたします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時39分 休憩

10時39分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

環境市民部長。

○環境市民部長 今回入札はあくまでも結果というところになるろうかと思えますけれども、増額した部分については燃料高騰が影響されているものというふ

うに考えております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 別でもう一つ確認します。今回入札結果で受けた業者さんが契約1年が3年に変更になっていますが、その理由を教えてください。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 長期継続にしたほうが事業安定として事業が進められるというところで判断したところによります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今回初めてになる業者なのですけれども、3年になれば慣れるという判断になったのはどういうところからですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 新しくなったのは結果の話でありまして、もともととしまして車両の例えば買換えとか、新規購入とか、あとは計画的な人間的なものなどはやはり長期にやったほうが好ましいというところで3年にはしているものです。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 競争する以上、初めてという可能性があるという部分は考えられる中で、3年間と切り替えたところというのは、初めての業者のことは考えなかったということですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 当然新しくなる場所も考えた上です。当然先ほども言いましたけれども、計画的な3年間の経済的なものも含めた、人間的なものも含めた、車両的なものも含めた中で計画を行う中では、やはり長期でやったほうが好ましいというふうに判断したものです。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 確認です。1年契約といたしますか、1年契約の結果を見て、その後状況を見て3年間というような考え方はしなかった、検討はあったのですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 考えておりませんでした。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それはなぜですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 先ほどから申しますけれども、どちらにしても長期のほうがいろんなものが計画が立てやすいというところは考え方の一つになっております。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 最後です。その件、分かりました。

今回、では新しい業者ということで、引継ぎはどうやってやる計画になっていきますか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 ちょっと暫時……

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時43分 休憩

10時43分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター主査。

○美化センター主査 引継ぎについては、各事業者、入札で今回落札した業者さんが、今既存の今年度やっている事業者さんと打合せをして行うことになっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その確認というのは市側ではやる予定ってあるのですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター主査。

○美化センター主査 打合せはしておりまして、3月3日までに計画をどのような形でやるかというのを提出するように伝えてあります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 最後です。リスクでちょっと確認します。4月から始まりますけれども、やはり何か問題等発生した場合、どのような体制と申しますか、どのようなリスク管理を考えていますか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 美化センター、あと生活環境課のほうでバックアップしながら、市が責任をもってやるように考えております。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 引継ぎ、その問題でお聞きしたいのですが、基準を緩和したことによって競争を高めるという考えがあったと思うのですが、それに参加できる対象となった事業者さんは何者あったのでしょうか。

- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 5者になります。4者……
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時45分 休憩

10時45分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
美化センター所長。
- 美化センター所長 4者になります。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） その4者の中に既存で10年で今まで業者として仕事をしていたらしゃった、その方も含んでの話ですか、新規に緩和したことによって新たに参入できるような業者さんの数というのは。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時45分 休憩

10時46分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
美化センター所長。
- 美化センター所長 1者になります。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 去年の3月に裾野市の一般処理廃棄物基本計画が作られて、その中で生活系ごみの収集運搬に関して、生活系ごみの収集運搬はおおむね滞りなく実施されていますとありますけれども、その中で何か問題というのはあったのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 特に問題はありません。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、特に問題がなかったのに、今回このような形で入札を行った理由は何でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 美化センター所長。
- 美化センター所長 先ほども申していますけれども、財政的なものも逼迫しているという中では、競争しながらやれる業者さん、可能な業者さんでもう一度見直すということ考えたものによるものです。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 財政的に逼迫しているということの中でこれをやって、

それではどういう結果を求められたのでしょうか。財政的に逼迫に対して、効果的な制度で入札をやったと。そもそも最初に想定された結果はどういうものでしょう。実際には燃料の高騰があつて、全体が両方合わせて2,000万円以上の増額になっているのですけれども、これは想定内ということですか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 あくまでも結果でのこれになっていますので、入札をやっていないけれどもちょっと上がっていたのか、それもちょっと分からないのですけれども、基本的には出されてきた金額によるものですので、随契であれば結果から見れば上がっていたというふうに判断します。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それは分かりました。

あと、この基本計画の中に事業系ごみの収集運搬計画というものがあります。それも一般廃棄物にも通用というか、いわれる話だと思うのですが、収集運搬業は将来にわたり継続的かつ安定的に実施する必要があります。そのため、許可制度の運用に当たっては収集運搬業者の事業の安定等にも配慮する必要があるということがあるのですけれども、このことと今回の……

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時49分 休憩

10時49分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 長くもう40年、50年近く随契で仕事をされてこられた収集運搬業者の事業の安定ということに対して、こういう形で入札する、それも長期継続契約という形でやることに対して問題点というのは何か考えられなかったのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 長く行っていることが確かに安定ですけれども、新規に入ってくる業者がいれば、それは初めての話になりますので、ただ業務的に慣れれば問題ないというふうに判断したものになります。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） ~~でも、安定のためにもろもろのために許可事業者はもう増やさないとはいきり言われているわけなのですよ。そのところとの関係はどうなのですか。~~

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 許可業者さんの話はこれの委託とは別物になっておりま

す。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時50分 休憩

10時51分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 先ほどの質問は取り下げます。

○委員長（勝又利裕） いいですか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 根本的に一番大きな問題をお尋ねします。このじんかい処理費は、一番大きなボリュームなのですが、美化センターの新施設に移行するというものがまだちょっと見えてこないのですが、令和5年度はどこまで進むのでしょうか、これが実際には。市長は単独でいくという、一般質問とか答えていますけれども、令和5年度に新施設に向けてどこまで見える形で議論というか、実際に進んでいくのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 今財政課のFMのほうとも調整を取りながら進めて、方向性はしっかり定めていきたいというふうに考えております。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 先送り先送りにしてはいけない課題だと思っているのです。なので、FMはもちろんそうですけれども、もうちょっと具体的に最低限ここまでは令和5年度答えというか、ここまでは進めたいというのがないのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時53分 休憩

10時53分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開します。

環境市民部長。

○環境市民部長 暫時休憩でお願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時53分 休憩

10時53分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

環境市民部長。

○環境市民部長 美化センター更新につきましては、内政で行ってございまして、FM関連も含めて内政で行っておりますので、現在のところ新年度予算の計上ということはありません。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 1点だけ。197ページの工事請負費で1億6,000万円、粗大ごみ施設の施設維持補修工事とあります。これは、具体的にどんな状況なのでしょう。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時53分 休憩

10時53分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター主査。

○美化センター主査 美化センターの粗大ごみ処理施設の工事内容でよろしいでしょうか。粗大ごみ処理施設の工事内容につきましては、破碎施設が主になります。粗大ごみを切断するような、粗大ごみの工事になります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 裾野市は人口の移動が多い町で、粗大ごみもかなり多いと思うんで。この破碎施設の施設を維持するために粗大ごみ自体を減らす、ほかの自治体では例えばネットで販売しているところあるのですけれども、その施設維持のためにそういう粗大ごみ自体を減らすというような対策とかは考えていないのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 令和5年度で対策をどう考えているかと、予算上であるかないかと、そういうことですね。

○委員（内藤法子） はい、そういうことです。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 予算上では今のところは考えてございません。

○委員（内藤法子） 分かりました。考えてください。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） じんかい処理費の人員費に関連してお尋ねしたいのですが、予算書で見ると、一般職員の方15人、去年は16人になっていて15人で、会計年度任用職員の方が6人から7人というふうになっているので

すけれども、何か事業を行う上での何か問題ないですか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時56分 休憩

10時56分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

美化センター所長。

○美化センター所長 今の人員で回しておりますので、問題ないというふうに判断しております。

○委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。

分科会外委員の質疑はありますか。

増田議員。

○委員外議員（増田祐二） お願いします。先ほど委員の質疑の中で、財政が逼迫する中、対象行者を増やしたいという、一般廃棄物収集運搬委託の部分でご答弁がありましたけれども、対象業者を増やしたいというのは御課の考え方ということでよろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時57分 休憩

10時57分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開します。

美化センター所長。

○美化センター所長 市の考え方という考え方で。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

10時57分 休憩

10時59分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開します。

環境市民部長。

○環境市民部長 担当課において検討した結果となっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） ほかにありますか。

小林議員。

○委員外議員（小林浩文） 1点お願いします。価格競争をやった結果、入札目的が果たされなかったというのは、これは結果であるというお話でした。安定的な処理を担保するために総合評価方式というものを入札において検討

されたかどうか、その点をお伺いします。

○委員長（勝又利裕） 美化センター所長。

○美化センター所長 検討は行いましたけれども、業務的にはそれほど複雑な業務ではないという話と、高度な技術を持つものでもないという中では、総合評価方式ではなく入札でも問題ないのかなというふうに今回は捉え、このような形で進めさせてもらいました。

○委員長（勝又利裕） 以上で分科会外委員の質疑を終了します。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で美化センターの質疑を終わります。

深良支所・富岡支所・須山支所

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 3支所に共通するところで、1つ確認させてください。
委託料のところ、3支所とも保守点検であるとか、清掃委託という同じような委託されていますが、これは各支所別々での委託なのか、3支所同じ委託先なのか、代表でいいです。代表でお答えください。

○委員長（勝又利裕） 深良支所長、代表で答えてください。

深良支所長。

○深良支所長 庁舎清掃につきましては……

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時16分 休憩

11時17分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開します。

須山支所長。

○須山支所長 委託業務の中で庁舎清掃業務につきましては現状のところ随意契約となっておりますが、市役所全体で入札をして清掃業務を実施をしたいと考えております。現在のところは8号要件ということで入札が不調に終わりましたので、随意契約となっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。

分科会外委員の質疑をお受けします。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外委員の質疑を終了します。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で、深良支所、富岡支所及び須山支所の質疑を終わります。

コミュニティ課

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。
質疑に入ります。質疑はありますか。
則武委員。
- 委員（則武優貴） よろしくお願ひします。フランクストンとの交流事業、派遣事業ですが、今後の状況が不透明な中で予算を持つに当たってどのようにお考えか教えてください。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 やはりズームによる交流というのは過去も重ねてまいりましたが、やはり現地に行って現地の空気を吸う、現地の方と交流をするという機会は、特に青少年においては大変重要だと考えております。ですので、この事業については今後も継続的に推進をしてまいりたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 今の国際交流の部分、もう少し掘り下げてお伺ひします。115ページの事業委託ですけれども、この事業委託をするに当たって、裾野市が委託する先に対して国際交流のありたい姿だとか、こういうふうなものを実現したいのだとかというような仕様のなものというのは共有できていますか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 当然委託、参考で見積りを徴取しておりますが、その際には委託、仕様書を提示をいたしまして、その中でその事業を実現できるような事業について提案をいただき、予算化とさせていただきます。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） その仕様の中で、例えば今市役所の前にある姉妹都市だとか、そういうようなキーワードというのが、なかなか触れる機会が市民として少ないのではないかと思うのですけれども、その部分というのは仕様の中にはどのような定義がされているのですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 姉妹都市関連の業務につきましても推進をしていくということで仕様のほうにうたわせていただいております。業務の見積りの中にも姉妹都市からの訪問団の受け入れ、あるいはオーストラリアフェア、こういったものの実施に係る経費が計上されております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 次へ行きます。115ページの市民協働推進ですけれども、暫時休憩お願ひします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時37分 休憩

11時37分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。
井出委員。

○委員（井出 悟） 現状、市民活動センターの運営主体を担っていただいている方、それらとの移行に関する取組というのはどのような形になっているのですか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時37分 休憩

11時38分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。
コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 直営にするに当たりましては、事前に委託業者と数回にわたりまして打合せを行っております。民営であるところと、公営になるところで若干すり合わせをしなければいけないところはありますが、細かいところも含めましてまだ年度ぎりぎりまで引継ぎ、調整のほうはさせていただく予定であります。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。そういう前提で、先ほどのアウトリーチみたいな形での取組への意気込みは伺ったので、実施計画における市民活動センターの運営事業については、そのままもしくはそれ以上のものが今後推進されるというような期待を持ってよろしいということですか。

○委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 そのようにできるように努力をしております。

○委員長（勝又利裕） 井出委員。

○委員（井出 悟） 分かりました。

この市民活動センターの部分ですが、市民団体との活動との調整だとか、いろいろマッチングだとかを考えていくと、生涯学習課との連携とかいうのが非常にいろんな部署をまたがっての機能が必要だと思うのですが、その部分の取組は令和5年度はどういうふうになるのですか。

○委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 ご指摘のとおり、生涯学習課の業務と市民活動センター

の業務の親和性というのは非常に高いものだというふうに考えております。そういった部分におきましては、ちょうど生涯学習センターに引き続き市民活動センターを置くということで、今度正規職員同士で連携を取りながら生涯学習課の業務、あるいは市民活動センターの業務、これを執り行っていきたいと考えております。

- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 市民活動センターの部分の最後です。この市民活動センターを直営するに当たって、体制等のお考え、今話せる範囲があったら教えてください。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 当然において、コミュニティ課、自治振興課関連としては人員の増強が必要であるというふうに考えておまして、それをベースに今人事当局のほうと協議をしておるところでございます。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） ちょっと確認です。
暫時休憩をお願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時40分 休憩

11時41分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 先ほどの質疑と関連しますけれども、市民活動センターの伴走型の支援をするに当たっての体制が、現状の委託と同等以上のものが実現されるというような見込みでの体制整備はされているという認識でよろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 人員の配置も含めて、そのようにできるように努力をいたします。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。よろしいですか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 今のところなのですけれども、市民活動センター、人員の配置はまだこれからはっきりすることなのですけれども、直営ということで職員の方が市民活動センターの業務に専属できるという状況になるのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。

- コミュニティ課長 職員が1日中市民活動センターに張りつける状況にできるかという、人員の配置の関係もありますが、それはちょっと難しいのかなというふうに考えておまして、本庁との行き来も含めて、正規の職員に関してはそのような形でのセンターの運営になっていくというふうに想定しておきます。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、生涯学習課の中で、その職員の方が重複してといいますか、兼務といいますか、で行う場合も想定されているということですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 現在のところ市民活動センター、2名体制を想定しておまして、正規の職員1名と会計年度任用職員1名の2名体制で考えております。正規の職員が不在の場合には会計年度任用職員がそれに対応するという形で業務のほうを想定しております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件、分かりました。いろんな市民の方々への活動支援ということなので、しっかりともう団体活動が行われている市民団体さんの場合はスムーズに行くとは思いますが、これから立ち上げていこうという、個人的にそういう思いのある方への対応というのはどんなふうにお考えでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 これにつきましては、従前からの委託業務でもマチテラスさんも同じように伴走支援していただいたところがございます。そういったところはノウハウを十分いただいて、同等かそれ以上の支援ができるように努力をしてまいりたいと思います。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、年度変わり、3月末までの間にまだまだ今まで携わっていただいた委託先の方との協議なり引継ぎなりをしていくということよろしいでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 業務に従事する環境につきましては、ある程度の整備ができたところがございますが、今度市民団体との関係ですとか、顔つなぎですとか、そういったところも含めて、関係につきましてはこれからまだ実際に私どもも出かけていって顔つなぎをさせていただいたりとか、そういうふうな形で委託業者と密接に関連をしながら今後年度変わりまで行ってまいりたいと思っております。

- 委員（三富美代子） しっかりとした引継ぎ、協議、よろしく願います。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 直営に当たって、今までのマチテラスさんのよさとメリット、デメリット、直営に当たってのデメリットもあると思うのです。その直営に当たってのデメリットというのはどういうものが出てきたでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 デメリットという形ではございませんが、先ほどご説明いたしましたとおり、より自治会、区、そういったところに深く入った支援、伴走が必要であるという考えに基づいております。そうしますと、やっぱりコミュニティ課ではもともと各地区、区長会の事務局を所掌している関係もありますので、そういったところに深く入りやすいというところで、よりメリットが大きいという点で今回直営を実施したということになります。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） その趣旨分かりました。生涯学習センターに置いていると、どうしても市民の目から見ると生涯学習センター直営に見えてしまうのです。各地区の区長会とか、自治の進行をやっていただきたいということであれば、場所を移すとか、本庁の中に、行き来せずとも。そういうことは考えなかったのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 それは検討いたしました。ただ、本庁内に実際談話スペース、パンフレットの配架、あるいは印刷機、そういったものを置けるスペースには限界がございまして、また土日も自由に生涯学習センターでしたら出入りができるという、その他もろもろのメリットが大きいと判断して、生涯学習センターのほうに引き続き設置したということになります。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） では、逆に本庁機能を生涯学習センターに移して一緒にするというのも考えてもいなかった。ちょっと無理がありますか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 それも検討はさせていただきました。それにつきましては、ちょっと東地区、西地区を中心に活動している団体、あるいは区長会、そういったところの地理的な部分も含めどうなのだろうかという検討を基に、今回は市民活動センターのみ生涯学習センターに置かせていただくという結論に至りました。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。

- 委員（内藤法子） 先ほどの説明で、職員は専属でいれるかというときに、難しいとおっしゃって、でも2名体制で正規職員と会計年度任用職員がいると。そうすると、正規職員がいるのは難しいと、実質会計年度任用職員が1人で対応していることが多いということですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 1人ではございませんで、あくまでも会計年度任用職員が1名になる時間帯もあるという解釈でおります。正規職員につきましては、やはり本庁業務、職員である以上、本庁のほうの業務に従事する時間というのも当然想定されますので、そういう時間は会計年度任用職員がセンターのほうの業務に1人で従事していただく、そういう時間は当然において想定しております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） その点、マンパワーが落ちないように注意してほしいのですが、1つ心配しているのは、前回の民営がやっていたときは市民団体の活動のために民でやるから民の要するに資金を持ってくるのが上手だったのです。例えば市が直営となると、市がやる行事に対して民のお金下さいというのは言いづらいということが絶対あると思うのです。この辺はどうクリアしますか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 ご指摘の点は、そのとおりだろうというふうに思っております。あくまで中間支援組織という位置づけになりますので、公と民の中間に位置するというのが市民活動センターの立ち位置になりますので、その点は走りながら十分注意をしながらセンターの運営を行っていきたいというふうに考えております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） では、財政の面から考えても民のお金を持ってくるというのは非常にプラスだった、その辺も継続的にやれるというふうに思っているのですね。今までと同等ぐらいにやれると。やれるのですね。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時50分 休憩

11時51分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
コミュニティ課長。

- コミュニティ課長 あらゆる支援の方法、補助金、お金も含めまして、我々の情報の範囲でフルに活用して市民団体の支援、これを行ってまいりたいと思います。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 今まで市民活動にかなり浸透して、市民に知れていたのです。直営になって勝手に違うと戸惑う市民が多いと思います。そこに対する広報はどのようにしますか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 市民に対して直営になることによる広報というのは今のところ想定はしておりません。というのは、事業継続的に市民団体あるいは自治会を含めまして、継続的に支援をしていくというのをまず想定しておりますので、多少行政が直営にすることによって手続が変更になるような部分につきましても、丁寧にそれに説明して対応していくということで支援をしてまいりたいというふうに思います。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 最後に、そうすると土日祝日の体制はどうなりますか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 土日祝日につきましては、職員は出勤いたしません。ただし、センターのスペース自体は開放しておりますので、談話あるいは印刷、パンフレットの配架、そういったものにはご利用いただけるということでございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） そうすると、スペース開放はいいのですけれども、印刷は使えるという、その受付とか、それは生涯学習センターにお願いするということですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 印刷機等につきましては、各団体がそれぞれUSBメモリーを持っておりまして、それを差し込むことで印刷機が使えるように、そんな仕組みになっております。ですので、受付は生涯学習課の職員に依頼をしなくてもセンターのスペースは利用できる形になっております。
- 委員長（勝又利裕） ほか。
岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 生涯学習センターの直営をするけれども、その中で経験のあるこれまでのマチテラスみたいな事業者に対しては、その中で委託をするということの論議というのはなかったのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 今回先ほどご説明いたしましたが、より地域コミュニティ、自治会、区への支援を強化をしていきたいということで、それに一番適した機関はどこなのだという検討をしたところ、やはりコミュニティ課が先ほど申しあげましたとおり、あらゆる意味で区とのパイプを持っておりますので、そこが実施するのが一番適当であるという、そういう検討をいたしました。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） これまでの長い経験の中に、新たに自治に関連する課題を改めてお願いをするという選択というのはなかったのでしょうか。

○委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 それにつきましては、やはり委託の事業者、もちろん自治会にも入っていただいておりますけれども、やはり情報として我々が持っている情報、委託業者が持っている情報、二元化、二極化しているのは好ましくないということで、窓口を一元化したほうがより効率的であろうという検討の結果、今回直営という結論に至ったものであります。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 委託費として511万円ほど出ていますけれども、それがなくなることによって人件費比率ということではどのようになりますか。金額と配置、数字で表すとどういうふうになりますか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時56分 休憩

11時57分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 人員の配置が不確定のため、今のところは確定できておりません。

○委員長（勝又利裕） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、ぜひそのところはしっかり検討していただきたいのですが、それに当たってはこれまでの事業者の方のノウハウ、本当に数字では表せないようなもの、時間と量ってあると思うのですが、どのような形で引継ぎをされるのですか。どのような形で。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

11時57分 休憩

11時58分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
コミュニティ課係長。
- コミュニティ課係長 今の委託先とは、主に人の引継ぎとものの引継ぎと両方しております。それはもう週に1度ぐらい綿密に打合せをしながらという形になりまして、人につきましては先ほど課長申し上げたように3月になってから顔つなぎ等をお願いするところでありまして、ものに関してはもうほぼ引継ぎの調整が終わっているところです。3月中にも活動団体さんのほうに少しずつ移行できるような形で既に広報も初めているところでもあります。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 予算書117ページの負担金、補助金のところで確認させてください。令和5年度、新たにパートナーシップ事業補助金というのが40万円組まれていますが、これはどういった補助金なのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課係長。
- コミュニティ課係長 パートナシップ事業補助金は、今年度につきましてはきれいなまちづくり推進事業補助金と併せての予算計上となっていました。来年度はきれいなまちづくり推進事業とパートナーシップ事業補助金がそれぞれ予算上分かれているということでありまして、従来からある補助金でございます。地域の活性化及び地域の課題解決に取り組む市民の支援をするという補助金であります。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そういう意味からすると、予算を分けた理由というのは何でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課係長。
- コミュニティ課係長 きれいなまちづくり推進事業に関しましては、現在21団体が活動しております。これらは、毎年度必要な経費というのが必ずございますので、それらを加味してパートナーシップ事業補助金という手挙げ方式の補助金に関しては別立てで予算を計上したというところでもあります。
- 委員長（勝又利裕） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その件、了解しました。
その下の男女共同参画推進事業で11万5,000円、予算取られています。令和5年度はどのような活動をする計画なのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課係長。
- コミュニティ課係長 これにつきましては、男女共同参画推進委員さんを任命をさせていただいております。その方たちに新しく定めた計画の進捗に関する検証、報告と、先ほど冒頭のご説明でもいたしましたLGBTQの方々の差別禁止、理解促進、あと明日から3月1日から始まります静岡県パートナ

ップシップ制度、これへの対応、こういったものを実施していくということになります。

- 委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。
分科会外委員の質疑をお受けします。
- 委員長（勝又利裕） 賀茂議員。
- 委員外議員（賀茂博美） お願いいたします。市民活動センターの件です。
現在第2期の市民協働によるまちづくり推進計画、これパブコメがちょうど終わって3月には公表されるぐらいだと思うのですが、この計画への影響というのは特にはないですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課係長。
- コミュニティ課係長 現在推進計画をつくっているところでありますけれども、そちらの方では特定の運営形態を明記しているわけではございませんので、影響はありません。
- 委員長（勝又利裕） 賀茂議員。
- 委員外議員（賀茂博美） この中に出てきます市民活動センターというのは、今後直営になっていくセンターのことを意味しているということの理解でよろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課係長。
- コミュニティ課係長 そのとおりです。
- 委員長（勝又利裕） 賀茂議員。
- 委員外議員（賀茂博美） あと1点です。すみません。実施計画からです。
市民活動センター運営事業のK P Iです。相談件数を掲げておりますけれども、新しく直営になったセンターでも相談事業のほうは実施されていくということによろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 そのとおりでございます。
- 委員長（勝又利裕） 以上で分科会外委員の質疑を終了します。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
賛否に関する意見はありますか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上でコミュニティ課の質疑を終わります。

市民課

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。
質疑に入りますが、要点を明確に質疑応答はよろしく願いをいたします。
ありますでしょうか。
則武委員。
- 委員（則武優貴） よろしくお願ひします。2025年のマイナンバー交付率の
目指そう率が90%かと思ひますが、現状の達成率について教えてください。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 総務省の統計集計になりますが、この1月31日時点で現在74.1%
になります。
- 委員長（勝又利裕） 則武委員。
- 委員（則武優貴） では、令和5年度の目標はどれぐらいですか。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 令和5年度は、75%、4人に3人以上になることを目指しており
ます。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） すみません。ちょっと説明の中で聞き取れなかつたかも
しれないのですけれども、今実証実験やっている市民課の窓口の予約システ
ムというのですか、あれの予算というのはどこになっているのでしたっけ。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 現在、実証実験ということでパイロット事業として行つておりま
すが、その間については無償ということで、5月いっぱいまで現時点で無償
で使用させてもらっています。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） ということは、この当初予算の段階であの事業は継続も
含めて決まっていらないので、特に予算化もしていないしという状況でいいで
すか、そういうことでよかつたですか、これは。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 この繁忙期、3月、4月において、現在のパイロット事業の予約
システムが機能ちゃんとできるかということを見据えた上で次の段階にとい
うことで、そこまでは検証ということになります。
(「休憩お願ひします」の声あり)
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時14分 休憩

13時14分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
市民課長。
- 市民課長 入っておりません。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。ないですか。
内藤委員。
- 委員（内藤法子） すみません。40ページ、41ページで、中長期在留者住所
地届出などに関する国庫委託金が来ています。外国人ということで、今この
令和5年度、何人分をこれで予測してこの予算でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 現在、裾野市で700余の外国人の方がいらっしゃいます。入ったり
出たりということで、その数字を大方基準としております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） ざっくりでいいですけども、国別にどういう国の人が
多いですか。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 一番多いのは中国の方です。その次、すみません、たしか韓国だ
ったかと思います。
- 委員長（勝又利裕） ほかに。
岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 先ほど窓口の解消ということで、いろいろ今パイロット
事業やられているということでしたけれども、その前にコード・フォー・ジ
ャパンなんかでいろいろ取り組まれてきたものの検証みたいなものというの
はやられて今回の新たな予算に入っているのでしょうか。結果はどういうふ
うになっているのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時16分 休憩

13時17分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
市民課長。
- 市民課長 現在のフロントディスクの費用は、来年度には盛り込んでありま
せん。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） ~~それ以前の実証実験の結果は、全く予算には反映されな~~

~~かったかということを知っているのですけれども。~~

~~委員長、分からないようでしたら、それは結構です。~~

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時18分 休憩

13時18分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 今の質問は取消します。

マイナンバーカード絡みでも本当に仕事が増え、まだこれからも続くという状況の中で、人件費のところで一般職、去年までは8人から今年7人で、あと会計年度任用職員の方が去年はたしか6人だったと思うのですけれども、今後9人ということになっているのですが、十分これで人手は足りている状態ですか。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時18分 休憩

13時18分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

市民課長。

○市民課長 足りていると考えております。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） お願いします。125ページ、予算書の委託料の中なのですけれども、一番下のところがマイナンバーカード、氏名ローマ字表記、あとそういったことが書かれていますけれども、これ5年度そういうシステムを導入するということですのですけれども、今まで発行されているカードをお持ちの方に対してもそういった操作が必要になるのですか。

○委員長（勝又利裕） 市民課長。

○市民課長 暫時休憩お願いします。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時19分 休憩

13時20分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

市民課長。

○市民課長 現在お持ちの方にも影響するかと思いますが、方法等はまだ定ま

っておりません。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 125ページの負補交の中で、コンビニ交付のサービス運営負担金が人口5万人を切ったために減額になっているのですけれども、5万人を切ったことによってほかの事業とか、そういう負担金等に影響のあるものというのはほかに何かありますか。
- 委員長（勝又利裕） 市民課長。
- 市民課長 市民課所管の部分ではありません。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、他の部分でそういうものって何かありますか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時22分 休憩

13時22分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
市民課長。
- 市民課長 他の課等の部分は分かりません。
- 委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。
分科会外委員の質疑をお受けします。ありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の質疑を終了します。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分会外委員の意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で市民課の質疑を終わります。

危機管理課

○委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

則武委員。

○委員（則武優貴） よろしくお願ひします。53ページの消防施設費についてどのように使用していくのか、詳しく教えてください。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時39分 休憩

13時39分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 消防施設費につきましては、ここ何年か消火栓の設置工事を行っております。この工事の実施に当たってというものになります。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） では、続けて、非常備消防費についてお伺ひしたいのですが、すけれども、補正のほうで団員数などを確認させていただきましたが、団員確保が大変厳しい状況が続いていると言われていの中で、市として消防力維持に向けての取り組みは何か検討されていますでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 危機管理課長。

○危機管理課長 各種イベント等では消防団の勧誘に向けてPRを行っている、あと消防では今年も予算もらっていますけれども、広報紙なんかを作成しているような形です。あとできるだけ消防の活動が理解できるよう、あらゆる機会の説明をしていくというような形で取り組んでおります。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。今回報酬額の見直しによって、新団員獲得の一手になり得ると考えられますでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 危機管理課長。

○危機管理課長 1つの処遇の改善ということで、それは大きなものになってくるのかなと考えております。

○委員長（勝又利裕） 則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。大規模災害などにも対応できる体制づくりが急務かと思ひます。今後の取組に期待します。

続きまして、防犯灯の件についてお伺ひしたいのですけれども、最終的には市が管理していきたいとのことでしたが、これからどのように管理していくのか、方向性について教えてください。

- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 先ほど防犯費のほうで委託の関係で説明しましたがけれども、まずは市内の防犯灯のデータ整備、そこから始まると思っています。その上で、確実にどの位置に防犯灯がついているかということ把握した上で、最終的には名義変更という形で市に移すというような考えでいます。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたかありますか。
井出委員。
- 委員（井出 悟） すみません。まず、聞き逃しているかもしれないのですが、予算附属説明書で防犯灯整備事業ということで3,333万9,000円ということで記載をされているのですが、その内訳というのを、この141ページでいうとどれとどれの合算なのかをちょっと教えてほしいのですが、ちょっとすみません、読み取れなかったので、申し訳ありません。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 新設事業に関しましては、12節の委託料の防犯灯台帳整備委託1,166万円、こちらと工事請負費の2,167万9,000円と、これが防犯灯の事業ということになっております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 了解しました。
今回、防災行政無線が御課の担当になると思うのですが、予算の話は聞きました。これらの普及とか転換に当たって御課で注力しようとするかどうかありますか。
暫時休憩をお願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

13時43分 休憩

13時43分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
危機管理課長。
- 危機管理課長 事業の詳細はまだちょっと分からない部分はあるのですが、デジタル化に向けて取り組んでいるということ、あといわゆる防災部局では各種防災の勉強会だったり、研修会だったりというのを年間を通してずっとやっていますので、そういう中でこの同報無線、この活用と必要性というものは機会あるごとに話をしていきたいなと思っております。今は音声という形になっていますけれども、これってまだ変わる可能性もあるのかなというところもあるので、防災無線と併せてどんなことができるというのをちょっと研究していきたいと考えております。

- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） よく分かりました。御課というか、環境市民部には自治振興係ということで区長とのつながりもあると思うのですが、そういうところの連携、この防災行政無線に関して何か考えられるようなことはありますか。考えられることがもしあれば。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 1階につきましては、市民課と自治振興課がありますので、窓口に来られる機会がいろんなことであると思いますので、そういう中で報無線の普及に関しては努めていきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） ぜひお願いします。
別の観点です。ちょっとすみません、暫時休憩お願いします。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

13時45分 休憩

13時45分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開します。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 139ページ辺りになるかもしれないのですがけれども、令和4年度に行われた富士山噴火等の防災に関する普及の関係、令和5年度の取組の状況はどこに、この予算で見れば分かるか教えていただければと思います。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 基本的には需用費、いわゆる訓練に当たっての必要な金額とか、あと例えば使用料、賃借料の中の一部ですけれども、訓練に当たってのバスの借上料、こんなところに予算を計上しております。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 昨年令和4年度は、富士山噴火等のことについて、地区に入ってかなり説明を、須山地区とかはされたと思うのですがけれども、それ以降の展開というのはどのようにするかというのは、令和5年度移行、その話を伺いました。

（「委員長、暫時休憩を」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

13時46分 休憩

13時48分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
危機管理調整監。
- 危機管理調整監 今年度につきましては、噴火前避難を対象として須山地区を重点地域として実施をしました。これについては、来年度につきましても引き続き地域、内容を拡充して実施します。特に防災事業につきましては、関係協力機関等の協力を得て、深掘りをしてやっていきたいと思っております。噴火後につきましては、上位計画、富士山火山防災対策協議会との兼ね合いがありますので、まだ検討の段階というところで、それに合った普及の仕方をしていきたいというふうに考えています。 以上です。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） お願いします。予算書の141ページの委託のところですが、防犯灯台帳整備委託、これ委託の内容というのはどんな内容になっているのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 現在設置されている防犯灯の現場調査と、あとこれをデータ化するというようなものになっております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、調査の費用とデータ化の費用でこの金額ということですか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 あと必要な機器も含めてこの金額という形になっております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 担当課で委託ということになってはいますが、これ内政ではできないような内容ということですか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 基本的に今の防犯灯と今後整備する計画の中では、東電柱とか、NTT柱についているものの確認を行っていくという作業になりますので、あと現場も踏まえますと少し現課のほうで対応は難しいかなと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件は分かりました。
今度工事のことでお伺いします。防犯灯の設置工事、これ約1,000灯ということお話をしたけれども、1,000灯をどこに設置をしていくのかという、そういう検討が必要かと思っておりますけれども、それはどのように進めていかれるお

考えでしょうか。

- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 一応計画では、まず1点は区長さんに要望、いわゆる新設箇所を聞き取りをするというところ、あと企業も含めて各種団体にもちよつと話を聞いて、どこが欲しいのかという情報を得ること、それと先ほどデータ整備の関係ですけれども、既存の防犯灯の位置を確実に把握することによって、実際に地図で見たときにここはないねとか、そういう状況が分かってくるということになりますので、これらを全体的に踏まえた上で設置箇所を検討して設置していくというような計画であります。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 市民の皆様の声を反映できるような形で設置をしているだけだと思いますけれども、スケジュール的にはどのようなのでしょうか、令和5年度は。先ほどの台帳の整備もありますけれども。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 まず、年度当初に業務委託の契約に向けて手続をしたいと考えております。補正でも話しましたが、更新というものが別に抱えているものですから、これもできれば先行していきたいというふうに考えております。大体上半期でそのデータ整備ができた段階で、新設工事の箇所等も選定しながら実施していくというような、今の段階ではそういうスケジュール感でいます。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今のお話を伺いますと、台帳整備が終わった段階で具体的なそういう工事のほうの検討がされていくと、そういう捉え方でよろしいでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 今の続きでお願いします。先ほどの説明の中で、データを整備して名義変更で市に移管するとおっしゃっていますが、今この電灯はどこが、市のものではないのでしょうか、防犯灯。先ほど名義を変更して市に移管するとおっしゃいました。どこから名義を変更するのでしょうか。何から何に。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

13時54分 休憩

13時56分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
危機管理課長。
- 危機管理課長 新設に関しましては市が設置するものでありますから、市の名義という形になります。今ある4,000灯につきましては、これは区の管理ということになりますので、これはその後の名義変更の手続を取って市のものにするというような計画でいます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） そうすると、1,000灯を設置して市の所有、電気代も全部市ですよ、そうすると。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） もう当然令和5年度予算にそれも含んでいるということで理解していいですか。
- 委員長（勝又利裕） 環境市民部長。
- 環境市民部長 維持管理の話ですけれども、方向性として将来どうかということだったので、市のほうに移管するという方向で考えているという話が1点で、電気料の関係ですけれども、従前のものがありますから、どのタイミングで切り替えるかということはあるので、それは令和5年度の予算には反映されていませんけれども、移管に当たっての中ではどうするかということをして令和5年度中に考えていくという形になろうかと思えます。
（「暫時休憩してください」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。
- 13時57分 休憩
- 14時00分 再開
- 委員長（勝又利裕） 再開します。
内藤委員。
- 委員（内藤法子） 5年度に設置する市の所有の1,000灯についての電気代は、当初予算に入っていますか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 新設分の電気料は当初予算のほうには入っておりません。5年度中に実施していく中で、必要に応じてそれに対応していきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 必要に応じて補正予算で対応するということですね。

- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 防犯灯に関してですけれども、もともと防犯灯設置工事というのは、これまで市民からなかなかつけてくれないとか、やる場合も区を通して申請をとというようなことがあったのですけれども、そういう政策的な変更するというのがまず一番としてあるということでもいいですか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 基本的には今の要項よりも、当然増やすということはそういう部分も緩和していくという言い方がどうか分からないのですけれども、変えていくということになると思います。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、目的として全体のLED化プラス市民や区からの要望に対しても設置をします、そしてそれ以外にも市がここは必要だろうと思ったところにも設置をしますという事業というふうに捉えていいということですか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 そのとおりであります。区に限らず、当然例えば学校関係だと通学路とかそういうところも出てくると思いますので、そういうところも全体的に見ながら新設箇所、これを選定していきたいと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それらに対して負担のありようはこれから具体的に検討していくという現状ということによろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 現在のところはそういうふうな形で考えております。
- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 271ページ、非常備消防のところですがけれども、今回報酬と地方交付税参入ができる部分というのはどの部分、この報酬の部分だけなのででしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩いたします。

14時03分 休憩

14時03分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開します。
危機管理課長。
- 危機管理課長 そのこの部分に関しましては、財政部局に確認のほうをしてい

ただきたいと思います。

- 委員長（勝又利裕） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） していただけますか。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

14時04分 休憩

14時04分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 同じページのところなのですが、消防団の団員の方々の被服費といいますか、それは需用費の一般消耗品費の中に入っているということでよろしいですか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 令和4年度と比べて、この一般消耗品費が減額されておりますけれども、内容はこういったことで減額になっていきますでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 被服のほかホースとか一般の備品なんか、そういう部分が少し数的にも減っているというところがございます。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 減額をして必要なホースを購入する費用ですよね、その辺減額されて不足といいますか、そういったことは心配は起きないのでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 基本的には在庫等の状況等も考えて計上しておりますので、そちらのほうは大丈夫だと考えております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） ほかにヘルメットですとか、いろいろ装備されて活動されていますけれども、そういったものの備蓄といいますか、それは大丈夫でしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 危機管理課長。
- 危機管理課長 当然団員数とか、そういう耐用年数等もありますけれども、その辺は管理されております。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 確認させていただきましても、この予算で不足は

生じないということによろしいでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 危機管理課長。

○危機管理課長 はい、そういうような形で考えております。

○委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。

分科会外委員の質疑をお受けします。

小林議員。

○委員外議員（小林浩文） 防犯灯です。台帳整備のほうには企業管理の防犯灯も含めて行われるお考えでしょうか。

○委員長（勝又利裕） 危機管理課長。

○危機管理課長 基本的にはその部分は考えておりません。

○委員長（勝又利裕） 小林議員。

○委員外議員（小林浩文） もう一点、行政事務委託のエリアについての協議、調整というのはなされておりますか。

○委員長（勝又利裕） 危機管理課長。

○危機管理課長 まだそのところは実施しておりません。

○委員長（勝又利裕） 小林議員。

○委員外議員（小林浩文） 今後これまでの地区管理であったところ含めて、地区からの要望を受けて整備をしていくということですので、いろんな役割等についてはこれから調整をしていく、そういったことによろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 危機管理課長。

○危機管理課長 はい、そのような形で調整のほうを行いたいと考えております。

○委員長（勝又利裕） 分科会外委員の質疑を終了します。

○委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

14時08分 休憩

14時08分 再開

○委員長（勝又利裕） 再開いたします。

先ほどの岡本委員の質疑に関する答弁漏れ、お願いします。

危機管理課主幹。

○危機管理課主幹 先ほどの岡本委員の質問の関係ですけれども、消防団の報酬の関係で地方交付税の参入をとということだったのですけれども、一部は充当はされているけれども、全額ではないということで回答させていただきます。

以上です。

- 委員長（勝又利裕） よろしいですか、岡本委員。
暫時休憩します。

14時09分 休憩

14時11分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。

委員の皆さん、先ほどの答弁よろしいですね。

（「はい」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で危機管理課の質疑を終わります。

以上で環境市民部関係の議案の質疑を終わります。

議会事務局

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。
質疑に入ります。質疑はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。
分科会外委員の質疑をお受けします。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の質疑を終了します。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
賛否に関する意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で議会事務局の質疑を終わります。

監査委員事務局

- 委員長（勝又利裕） 説明は終わりました。
質疑に入ります。質疑はありますか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） お願いします。工事監査の委託が1,000円だけという状況ですけれども、これはどういったことでしょうか。
- 委員長（勝又利裕） 監査委員事務局長。
- 監査委員事務局長 工事監査につきましては、令和2年度まで実施していましたが、コロナの状況、それから事業量の全体的な減少ということから、その効果を発揮することがなかなか難しくなったということで、監査委員と相談の上、見送ろうということになっております。また、市の状況が変化しましたら再開ということも考えておりますが、5年度につきましては今のところ見送るという考えでおります。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 今の件、分かりました。令和5年度は実施は考えていないということで。
あともう一点、監査委員事務局としてこの令和5年度、特にこういった点を力を入れて取り組みたいというようなお考えがございましたらお願いしたいと思います。
- 委員長（勝又利裕） 監査委員事務局長。
- 監査委員事務局長 2点ほど考えております。まず1つは、現在の監査委員がお二方ともまだ就任されて1年たっていないということですので、事項の説明には引き続き注意を払っていきたいと思っております。それから、機構改革が予定されています。そうしますといろいろな部分で監査にも影響が及んでいきますので、それを円滑にするための努力をしていきたいと、こういうふうに考えております。
以上です。
- 委員長（勝又利裕） ほかにどなたか。よろしいですか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 委員の質疑を終了します。
分科会外委員の質疑をお受けします。
（「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の質疑を終了します。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(勝又利裕) 分科会外委員の意見はありますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(勝又利裕) 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で監査委員事務局の質疑を終わります。

出納課

○委員長（勝又利裕）

質疑に入ります。質疑はありますか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 今最後のところなのですけれども、財調の繰替えに使われる金額の幅がかなりあったのですけれども、8億円から30億円というお話でしたけれども、その幅の中で想定できる金額というのはどの辺りなのですか。

○委員長（勝又利裕） 会計管理者。

○会計管理者 30億円というのが出納閉鎖期間の2か年あるのですけれども、そのうち大体例年4月に新旧年度合わせて30億円の実績がありまして、基本的には同じような額となっております。基本的には1か月間になります。あと8億円というのは、出納期間を終えてから新年度予算、こちら新年度分だけになりますので、当初が8億ぐらいです。年の中間ぐらいでまた10億円ぐらい増やしたりとか。今まで大体平均28億円とか、そのような流れの中でやっています。そういった意味で時期によってちょっと額が違いますけれども、少なくて8億円、多くて30億円ということになっております。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、令和5年度の中でも今説明ありましたとおりその時期によつての繰替えで使っている金額が変動すると、その幅が8億円から30億円ということによろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 会計管理者。

○会計管理者 そのとおりでございます。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） あと最後20年ものの公債っておっしゃったと思うのですが、1億円投入されると、運用でというお話ですけれども、この元になるものはその他の基金がありますね、それからそちらのほうに投入すると。幾つかを合計して投入するというようなことによろしいですか。

○委員長（勝又利裕） 会計管理者。

○会計管理者 概略としてはそのとおりです。基本的には3つの基金から拠出をして合計1億円という形で金融機構債を買うとする予定でおります。

以上です。

○委員長（勝又利裕） 三富委員。

○委員（三富美代子） すみません。ちなみに、その3つの基金はもう現段階

では決まっていますか。

- 委員長（勝又利裕） 会計管理者。
- 会計管理者 決まっております。
- 委員長（勝又利裕） 暫時休憩します。

14時40分 休憩

14時40分 再開

- 委員長（勝又利裕） 再開いたします。
会計管理者。
- 会計管理者 3つの基金ですけれども、1つ目が鈴木忠治郎育英基金、こちらから6,000万円、次にスポーツ推進基金、こちらから3,000万円、3つ目がふるさと・水と土基金、こちらから1,000万円、合計1億円ということで予定しております。
- 委員長（勝又利裕） ほかに。
井出委員。
- 委員（井出 悟） 今管理者がおっしゃられた運用で得られる収入は、予算書でいうとどこに。例えば62ページに預金利子とか、そういうところに入るのですか。
- 委員長（勝又利裕） 会計管理者。
- 会計管理者 一般会計もそうですし、特会部分もそうなのですけれども、こちらのはまだ補正対応になるかもしれないですけれども、当初としましては予算書でいいますと56ページ、57ページになります。すみません。こちらのほうは、今1億円の20年債についてはまだ予算のほうは計上しておりませんので、補正でまた計上するような形になろうかと思えます。こちらに計上してある数字については、例年大口預金として1年間の定期預けをしているのですけれども、その予算が計上されております。こちらが一般会計の部分になります。あとは特会のほうにもそれぞれ利子のほうは大口預金の利息として計上してあります。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） すみません。財政課のほうでは、今後の財政見通しというのを出して、今後の財調の残高等が示されているのですけれども、そういう中ではこれから年度を進むに向けて財調の残高を1割程度減らしながら進んでいくと思うのだけれども、その際に繰替え運用との絡みというのはどういうふうになっていくのですか。今は先ほど8億円から30億円みたいな話したと思うのですけれども、どのような考え方でこの基金の持ち方を運用させていくのかというの、何かもし考え方があれば。

- 委員長（勝又利裕） 会計管理者。
- 会計管理者 5年後のというか、具体的な話としてまだしていないのですが、恐らく財調が二十何億円とかになったときには当然足りなくなりますので、ほかの基金のほうから繰替えするような形になろうかと思います。
- 以上です。
- 委員長（勝又利裕） 井出委員。
- 委員（井出 悟） 考え方としては、この基本的な今後の財政見通しを運用しながら、持っている基金をうまく使って少し利ざやを取ろうというか、そういうことを考えようという、そういうレベルの話ですね。利ざやを取るための繰替え運用がもうマストというか、これが第一命題ではなくて、あくまでも財政運用をしていく中で、基金として運用しても差し支えない部分だけを取り分けて運用しているという、そういう考え方でいいのですよね。
- 委員長（勝又利裕） 会計管理者。
- 会計管理者 そのような考えで。
- 委員長（勝又利裕） 以上で委員の質疑を終了します。
- 分科会外委員の質疑をお受けします。
- （「なし」の声あり）
- 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
- これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
- 賛否に関する意見はありませんか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 分科会外委員の意見はありますか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（勝又利裕） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
- 以上で出納課の質疑を終わります。

自由討議

○委員長（勝又利裕） 以上で予算決算委員会総務分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。

次に、自由討議を行います。

委員の皆様申し上げます。

発言は1人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発言してくださいませようお願いいたします。

どうでしょうか。順番に行きますので、則武委員からいいですか。予算審査を通じて感じたこととか、意見があればということです。よろしいですか。

では、井出委員からお願いします。

○委員（井出 悟） お疲れさまでした。令和5年度の予算は、市長が就任されてフルでつくという予算だということで、施政方針等の説明でも言われていたのですけれども、ではその市長戦略を新たに策定して、重点政策を取り分けていろいろ紹介していただいた中での予算としては、全体的にどこが盛り上がってどこが少し行財政の構造の改善でなくすところとか、抑えたところとかという、そのメリハリの部分がちょっと分かりづらかったなというのも率直な感じでした。なので、これはもしかしたら予算の審議側の課題かもしれないのですけれども、こういう市長戦略に基づく予算の出ているところ、引っ込めたところというのがより分かるような審査をうまくやればさらによかったかなと。ちょっとこちらのほうの僕は課題を感じました。

あと2点目は、やはりこの予算説明をいただいて数字の説明をいただくのは当然なのですけれども、特に市長戦略に基づいて市長戦略を策定し、ビジョン、ミッションを実現するための予算組をするのだというときに、各担当課に落とししたとき、担当部に落とししたときに、自分のところの部のミッションは令和5年度何に力入れるのだとか、そういうものが聞こえるとよかったなと思います。やっぱりそういう発言がなかなか出てこないというのはまだまだ市長戦略等の浸透に大きな課題もあるかと思うので、ここで言うのも何ですけれども、特別職についてはもっと展開方法を考えられるといいかなというふうには感じました。

あと全体的な予算については、メリハリをいろいろつけられた予算が出ていましたので、例えば一般廃棄物の委託だとかありましたので、事前にその理解を深めるための説明なんかも含めて、より今後も考えていただければスムーズな予算審査になったかななんて思います。全体的な予算については理解が深まったと思います。

以上です。

○委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

では、則武委員。

○委員（則武優貴） すみません。お疲れさまです。今回初めて予算審査に出たのですけれども、やっぱり財政だったり、人事だったりというのは最初にやらないという意味は分かるのですけれども、何かやっぱり最後の岡本さんのときみたいにああやって聞けなくなってしまうという状況が出てしまうというのもまた難しい問題だなと。その以前のそういう過去があって、財政課と人事課が最初に来たよというのを後々聞いたので、難しい問題だなというのをよく感じました。

あともう一つは、井出委員とも話がかぶるのですけれども、例えばミッション達成に向けて各課がどのように思っているのかというのがやっぱり見えない部分もあったので、やっぱり1つの目標に向かって突っ走るとするのは市をよくするに当たってすごく大切なことだと思うので、僕たちもそれを引き出せるようにもっといろいろやっていかないといけないのかなというのを学びました。ありがとうございました。

○委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

では、次は三富委員、よろしいですか。

○委員（三富美代子） 皆さん、お疲れさまでした。今までのお二人と同様の感想はあります。特に今回組織改編がすごくありましたので、新しく新設部もあり、新しい新設課もありということで、何か一応当局側の方々は説明は元の場所で、予算のこの計上としては新しい課でということで、しっかりそういう前提も踏まえてやっていただいたのですけれども、なかなか自分の市の組織がまだしっかりと頭に入り切れていないので、かなり戸惑った点もありました。それは、こちら側の準備が足りなかったのかなという反省はあります、私自身の。

あとは、今回すみません、ちょっと予算審査という直なことではないのですけれども、本当に通し事業の新しい取組を市長が考えられていて、重点の施策としてこの予算附属説明書のところに令和5年度主な事業で載っています。それに対してちょっと総務ということだけではないのですけれども、初年度は計画策定とか調査とか、それが2年後とか3年後に事業化をしていくときに財政的なことがどうなのかなというのが、一番今回予算審査の中で自分自身としてはそういったことがひっかかったといいますか、今後の財政がどういうふうに向かっていくのかなというところで、そんな思いもありました。

いろんな資料も前もって配っていただいていたので、それを基に質疑をさせていただいただけましたから、その点はよかったですと思います。今後の財政見

通しですとか、そういったことも前もっての資料、説明もございましたし、市長戦略についても説明をいただいていたので、そういったことは今回の予算審査には大変役に立たせていただけたということで、その辺はよかったと思っております。

あとは、総合計画の実施計画の中で、担当課の方々がつくられて目的とか内容とか課題とか、それぞれ挙げていただいているのですけれども、ではそれを令和5年度だったなら令和5年度にどう達成していくのかというところまでは、ちょっとこちら側も私なんかはそこまではちょっとなかなか質疑ができなかったかなというふうにも感じております。項目もたくさんありますし、事業もたくさんありますので、自分が一番この令和5年度の予算ではこの事業ということで質疑をさせていただきました。というところですよ。ありがとうございました。

○委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

では、内藤委員、お願いします。

○委員（内藤法子） お願いします。国の経済状況が持ち直したということで、何か少し明るい状況が見えてきました。裾野市は第2期行政構造改革の2年目ということで、資料を頂きましたら実際の地域財政計画よりも何かよい方向に行っているというのはちょっと安心があって、市長の政権交代ということで、ボトムアップではなくて、恐らくトップダウンでいろいろなものが決まっていっていると思います。なので、ボトムアップだったら自分たちが挙げたものだから、自分たちもいろいろと説明ができるのでしょうかけれども、何かちょっとおっつけいって混乱しているというのがやっぱり見えました。この実施計画の中でいろいろと課題が出ているのですけれども、この課題を理解して必ずしも令和5年度の予算に反映等、ちょっと直通していないのも見受けられて、ちょっとそれはしょうがないのかなというところがありました。

それから、予算附属説明書に重点項目とかありましたけれども、当局の説明の中で分からないところも何かあるというか、手探りでもう政権交代に一生懸命追いついているというところがありました。そういうところをちょっと審査するときも、私のほうも十分な理解がなかったということで戸惑ったところもありますけれども、でも執行部も一生懸命やるという姿は見受けってきたので、この市長戦略にのっとった令和5年度の予算の執行を全体的にはしっかりとできているかなと思っています。全部が全部はちょっと私も勉強不足というか、追いつかないところありましたけれども、特に大きな問題とか、ここがこれで絶対否決しなければいけないというところは見当たらなかったと思います。

以上です。

○委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

では、岡本委員、お願いします。

○委員（岡本和枝） 4年間ぐらいSDGs構想、ウーブンシティ関連、そしてあと非常事態宣言という、そういう中で予算決算を審議してきた、その大変さというのを今思うと本当に何だったのかなという感じがします。その経験の後で今回トップが代わって予算審査をしているのですが、私はずっと前から住民が有権者で地方自治の主体、そういう観点に立っての政治をすべきだということを言っているのですが、今回審査の中でデジタル対応だとか、あと細かいところではバス・タクシー券の対応とか、あと広報紙のただお知らせするだけの広報紙ではないものを目指したいとか、あとこれは予算ではなくてほかのところでもずっと計画は立てたけれども放っておいたものも、立てるだけではどうしようもないから実際に移そう、できることから始めようという、そういう姿勢が見えて、道路計画の中で見えるのですが、そういうところから落ち着いて住民の生活を本当に守るためにどういう予算を立てていくかという、予算の削減だけではなくて、守るためにどうしていくかという、途に就いた感じはとてもしています。とって引き継ぐのも、それとは全く別で、これ以外のところでは民から民へ、民ができるものは民へという、この姿勢の中では行き過ぎた部分に対して私はとても今回問題を持っているものがあるもので、その反対というか、ちょっとその提起はしたいと思っています。やっぱり行き過ぎた部分というのはやっぱりとても問題です。

そういうことで、資料も事前にいろいろ出されたり、あと形式の変わった中でもなかなかしっかりと審議ができるようになってきたのかなというふうに思っています。さっき審議の中では、例えば郵便局のマイナンバーの委託みたいな、その事業費としての全体の額をやっぱりどこかに、以前の附属説明書にあったような形でどこかにそれが載ってくるのかなというふうに思いました。中身の中ではそんなところでした。そんなところです。

○委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

では、浅田委員、お願いします。

○委員（浅田基行） 2日間お疲れさまでした。総務委員会というのは、予算というのは今回初めてなのですけれども、やはり市長戦略部の戦略推進課がいろいろ企画といいますか、考えて、その部分で人事課のほうで人であるとか、各課、特に今回2部3課ですか、新しくなるというところが当初予算の中では新しいところではあったのですけれども、仕事の中身としては確認できたのですけれども、ではその部、課が新しい体制、部長は1人だから分かりやすい、課長と、その下職員が何人つくというところが、人事課がまだ検

討中という話があって、今回審査の中でせめてその人数、頭数ぐらいの体制はやはり準備はしておいてもらいたいなど。いい悪いではないのですけれども、どれぐらいのボリュームでやるかという意味では審査としては非常に大事なかなと思ったので、そこぐらいまでは準備してほしかったなど。当初予算がこの時期の審査なのですけれども、年度末的にいうとまだ若干時間があって、まだできていないとかも多々、そんな答弁もあったのですが、確かにそういうのも中にはあるのでしょうかけれども、できるだけやはり審査で準備できる態勢をつくってもらいたいなど。それが非常に感じました。

もう一つは、まだまだ縦割りのような形、これはどこどこの課、これはどこどこの課みたいな、自分事としての部分、これはうちではないみたいな印象が物すごく総務だけではないかもしれないけれども、総務今回私初めてあれして感じました。今度次は我々、24日に事前やったというのはちょっと効果あったかなと思っています。まだまだ我々の中でちょっと簡潔な質疑という中身の中で、ちょっとやはり思いが強くなる、炎上してしまう、あるのかもしれないけれども、ちょっと質問寄りになる傾向というのは我々の委員の中でもあったので、そういうところは改善しつつ、やはり事務局と当局が時間設定してくれている範囲、その範囲が正しいかどうかというのは置いておいて、それに向けて努力というのは我々も努めなければいけないかなというふうに思いました。いずれにしましても、ちょっと2日間大変だったと思いましたが、皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

○委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

まず、では私のほうからちょっと。よろしいですか、私発言していいですか。24日に、先ほど副委員長からも話ありましたけれども、事前をちょっとやったことはよかったのかなというのは、まず第一印象。それから、各課ごとに時間配分の一応目安が書いてあるのですけれども、それに沿ってやれるのが一番いいのでしょうかけれども、いろいろな議論があって質疑応答があるものですから、そのようにはいかない。ただ、そこは1つの目安になるのかなという中で、委員長采配がちょっと昨日、今日とうまくいなくて時間を費やした部分はありましたけれども、皆様の質疑に対してはなるべくしていただきたいという一心からそういうふうになったことをまずご理解いただきたいと思います。

いろいろな部分で市長戦略の関係、それからメリハリが上手にうまく伝わらなかったとか、担当部課のミッションは何だとか、そういうこともいろいろ意見としていただきました。そして、組織改編に伴って通し事業もありますけれども、それが今後財政面にどうなっていくのかということもあります。それから、資料いろいろ出していただいたからありがたかったと。それ

から、あとはトップダウンなのかボトムアップなのかはそれは別として、市の方針として決まった以上は、ここで委員会質疑がある場合はもう少し答えるほうもしっかりとした答えが欲しかったというのはあったのかなと思っております。あといろいろな部分で地に足がついているような予算取りにはなっていますけれども、まだちょっといき過ぎている部分もあるという意見もありました。組織改編に伴っては、当然人事の関係も出てくるのですけれども、そこでどういう配置にするのか、もう少し早めの準備も必要なのかなということ。それからもう一つは、行政昔から言われている縦割りがもう少しなくなればいいのかというようなご意見があったと認識をしております。これについては、上手にまとめさせていただいて、3月15日の予算決算委員会で分科会の委員長報告をいたしたいと思っております。

よろしいですか。

(「委員長、いいですか」の声あり)

- 委員長(勝又利裕) どうぞ、副委員長。
- 委員(浅田基行) 今委員長がお話しされたところで、本当今回、何て言うのでしょうか、かみ合わないというのですか、質疑に対して答弁がかみ合わない、質疑が理解されていないのかな、質疑に対して期待する答えがないと言ったらいいのか、局長にもあれしたのですけれども、答えられる人が答えたらいいってさんざん言っている中で、課長が基本答えるという意味合いの中で、課長もいろんな職員で担当とかいた、今日の生活環境課は残念だったのが、あれだけ頭数いるのに課長が一人頑張って、もっとほかの担当さん直接答えてあげたらいいのになって。だから、今後そんなふうになっていくのかなと思いますので、当局側もそういう構えでやってもらえて、我々の質疑もいろいろ考えなければいけないのかなと思うのだけれども、でも何というか分からないのだ、うまく伝わらないというか、そこはお互い努力なのかな。非常にちょっとかみ合わせがうまくいかないというのが一つ印象でありました。ちょっと1つ追加でお願いします。
- 委員長(勝又利裕) はい。
何かありますか、井出委員。
- 委員(井出 悟) ここで言う話ではないのかもしれないですけれども、今後この自由討論をどういうふうに生かしていくのかというのは、3 常任委員長か分からないけれども、議論したほうがいいのかと思うのです。要はこの結果を基に予算決算委員会で報告していただいて、最後本会議で委員長報告をするのですけれども、そのときに例えばなのですけれども、今回の中で決議をつけなければいけないときには、____とかそういうものが発生したときには予算決算委員会の中で自由討論とかをやって、まとめて附帯決議みたい

のをつけなければいけないはずなのです、恐らく手順として。なので、僕もちょっと感想文的なことを言ってしまいましたけれども、やっぱりこの自由討論のありようというのはちょっと今後意識していかないと、ただの委員会の委員長報告とは違うではないですか、条例とかの関係と違って1回かまなければいけないもので、そこはちょっと、例えばこういう中で附帯が発生するよというときに、これをどうやって持っていくかというのをちょっと皆さんで意識しながらやるしかないなとちょっと思っています。別に今日の話としてあったかなかったかは別です。

○委員長（勝又利裕） 予算審査の中で、いろいろご意見が出てきて、これはそういうのの意見をここで共有してもいいのかもしれないし、それで井出委員が言うように最終的に、今回、例えばいつかの段階でこれは意見をつけたほうがいい、通すに当たって賛成するに当たって、そういうのはつけたほうがいいよということになれば、総務委員会としてそれは当然やっていくようになるとは思っていますけれども、今日のご意見聞いているとそこまでのあれはないのかなと思っていますから、ただいろいろ当局側への要望とか意見ももしこの中であれば、それはそれとして委員長報告として予算決算委員会でやりますので、そこから次に予算決算委員長が次にそれも入れてくるのかどうかというのは3常任委員会で話をするのも必要だろうし、そういうことになるのかなと思っています。

○委員（井出 悟） 今予算決算委員会の立てつけが賛否に関する意見は本会議で述べていただくようにとどまりという仕組みになってしまっているのだよね。ちょっとそういうことも含めて少し今後の検討必要かもしれないけれども、特に大きく変化点があるようなときに少し意識する、今日だからということではいいです、そういうようなことを考えて今後委員会審査に臨めばいいかなという話だけです。

○委員長（勝又利裕） 分かりました。ありがとうございます。
ほかにどなたか。自由ですから。よろしいですか。いいですか。
（「なし」の声あり）

○委員長（勝又利裕） それでは、自由討論を終わります。
以上で本分科会に割り振られました議案の審査は全て終了いたしました。
来る3月15日の予算決算委員会で分科会委員長報告を行います。審査にご協力賜りましたことに感謝を申し上げます、本分科会を閉会いたします。
長時間にわたりありがとうございました。

15時15分 閉会